TeraStation™
TS-TGL シリーズ
ユーザーズマニュアル

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... 次のページへ続く に続くページは、次にどこのページへ進めばよいかを記しています。

文中の用語表記

・Windows 搭載パソコンの場合、本書では次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
　C： ハードディスク　　　　D： CD-ROM ドライブ
・本書では、Microsoft 社 Windows Millennium Edition を Windows Me と表記しています。
・本書では、Microsoft 社 Windows 98 Second Edition を Windows 98SE と表記しています。
・本書では原則として TS-TGL シリーズを TeraStation と表記しています。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■ 本製品は一般的なオフィスや家庭の OA 機器としてお使いください。万一、一般 OA 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

・一般 OA 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■ 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

目 次

1 はじめに

TeraStation を使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。

特長

- **1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T ポートを搭載し、LAN に接続された複数台のパソコン (Macintosh にも対応) からアクセスが可能です。※ 1000BASE-T は全二重のみの対応です。**
- **TeraStation の共有フォルダごとにアクセス制限が可能です。**
- **背面に USB コネクタ (USB2.0/1.1 シリーズ A) を 2 個搭載しています。**
  USB コネクタには、外付けハードディスクを増設して TeraStation の共有フォルダを増やすことができます。また、オムロン社製 USB 接続 UPS(対応製品のご確認は弊社ホームページおよびオムロン社ホームページにてご確認ください) を接続することもできます。
- **4 つのハードディスク使用モードで様々な用途に対応します。**

  通常モード
  それぞれを 1 つのドライブとして認識、合計 4 つのドライブとして利用します。

  スパニングモード
  すべてを 1 つのドライブとして認識、大容量データも余裕で記録できます。

  RAID1 モード
  2 つのドライブとして認識、各ドライブ内でミラーリングして記録を保護します。
  ハードディスクが 1 台故障しても、交換・復旧することができます。

  RAID5 モード
  1 つのドライブとして認識、データをパリティとともに分散して記録し、データを保護します。
  ハードディスクが 1 台故障しても、交換・復旧することができます。
- **大容量電源により安定した電源供給。停電時などでも対応する UPS(無停電電源装置) と併用すれば、安全にシャットダウンすることができます。**
- **筐体内部の温度を監視してファンの回転数を自動制御しています。**
- **RAID5、RAID1 運用時に、RAID メンテナンス機能で定期的にハードディスクの診断、読み込みエラー (不良セクタ) の自動修復をすることができます。不良セクタ多い場合には、ハードディスクを交換するよう液晶に警告表示、メール通知で知らせることもできます。**
- **内蔵のハードディスクは簡易カートリッジ方式を採用し、本体前面から簡単に交換することができます。**

制限事項

メモ　ここに記載の制限事項は、TeraStation のファームウェアが最新版であることを前提にしています。最新のファームウェアは、弊社ホームページからダウンロードすることができます。

●Windows 98SE/98/95、Mac OS(AppleTalk 接続時) では、OS の制限によって 2GB 以上のファイルをコピーすることはできません。

●Windows Me では、OS の制限によって 4GB 以上のファイルをコピーすることはできません。

●全角文字（日本語など）のフォルダやファイル名を作成するときは、120 文字以内にしてください。120 文字を越える名前のフォルダやファイルは、コピー操作ができないことがあります。

●TeraStation のフォルダやファイルに属性（隠し / 読取専用）を設定することはできません。

●アクセス制限をかけて使用する場合、TeraStation に登録できるユーザ数は 300 名までです。

●共有フォルダ名とワークグループ名に漢字を使用すると、使用した文字によっては共有フォルダやワークグループが正常に表示されないことがあります。そのようなときは漢字以外の文字をお使いください。

●本製品に登録するユーザ名およびグループ名に以下の文字は使用できません。
あらかじめご了承ください。
< 登録できないユーザ名、グループ名 >
root、bin、daemon、sys、adm、tty、disk、lp、sync、shutdown、halt、operator、nobody、mail、news、uucp、ftp、kmem、utmp、shadow、users、nogroup、all、none、hdusers、admin、guest、man、www、sshd

●本製品に登録する共有フォルダ名に以下の文字は使用できません。あらかじめご了承ください。
< 登録できない共有フォルダ名 >
info、spool、usbdisk1、usbdisk2、usbdisk3、usbdisk4、lost+found、
global、printers、homes、lp

●共有フォルダ名、ワークグループ名およびファイル名に次の文字を使用すると、TeraStation のデータにアクセスできない、ファイル操作が正常行えないことがあります (Macintosh では正常に表示されません)。そのようなときは他の文字をお使いください。
①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩⅰⅱⅲⅳⅴⅵⅶⅷⅸⅹ㎜㎝㎞㎎㎏㏄㎡№
㏍℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹㍾㍽㍼㍻㍉㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻￤＇＂〝〟∮∑∟⊿纊褜鍈銈蓜俉炻昱棈
鋹曻彅丨仡仼伀伃伹佖侒侊侚侔俍偀倢俿倞偆偰偂傔僴僘兊兤冝冾凬刕劜劦勀勛匀匇匤卲厓厲叝﨎咜咊咩哿喆
坙坥垬埈埇﨏塚增墲夋奓奛奝奣妤妹孖寀甯寘寬尞岦岺峵崧嵓﨑嵂嵭嶸嶹巐弡弴彧德忞恝悅悊惞惕愠惲愑愷愰
憘戓抦揵摠撝擎敎昀昕昻昉昮昞昤晥晗晙晴晳暙暠暲暿曺朎朗杦枻桒柀栁桄棏﨓楨﨔榘槢樰橫橆橳橾櫢櫤毖氿
汜沆汯泚洄涇浯涖涬淏淸淲淼渹湜渧渼溿澈澵濵瀅瀇瀨炅炫焏焄煜煆煇凞燁燾犱犾猤猪獷玽珉珖珣珒琇珵琦琪
琩琮瑢璉璟甁畯皂皜皞皛皦益睆劯砡硎硤礰礼神祥禔福禛竑竧靖竫箞精絈絜綷綠緖繒罇羡羽茁荢荿菇菶葈蒴
蕓蕙蕫﨟薰蘒﨡蠇裵訒訷詹誧誾諟諸諶譓譿賰賴贒赶﨣軏﨤逸遧郞都鄕鄧釚釗釞釭釮釤釥鈆鈐鈊鈺鉀鈼鉎鉙鉑
鈹鉧銧鉷鉸鋧鋗鋙鋐﨧鋕鋠鋓錥錡鋻﨨錞鋿錝錂鍰鍗鎤鏆鏞鏸鐱鑅鑈閒隆﨩隝隯霳霻靃靍靏靑靕顗顥飯飼餧館
馞驎髙髜魵魲鮏鮱鮻鰀鵰鵫鶴鸙黑畩秕緇臂蘊訃躱鐓饐鷀

●Macintosh と Windows でデータを共有する場合、上記の文字をファイル名・フォルダ名に使用すると正常に表示されません (Windows ←→ Windows 間では正常に表示されます)。

●Macintosh で作成したファイル名に下記の記号が含まれると、Windows からは OS の制限により正常に表示できません。また Mac OS X(10.2 以降) では、AppleTalk を使用せずに smb を指定して接続する時に下記の記号を使用すると、ファイルをコピーできません（または正常に表示できません)。

? [ ] / \ = + < > ; : ” , | *

次のページへ続く

●TeraStation に登録するユーザのユーザパスワードは、Windows 98SE/98/95 をお使いの方は半角英数 15 文字以上にしないでください。Mac OS をお使いの方は半角英数 9 文字以上にしないでください。TeraStation の共有フォルダにアクセスできなくなります。

●TeraStation へのファイルコピーは、ジャーナリングファイルシステムにより保護されますが、コピー中にキャンセルしたり、コピーを途中で終了 (LAN ケーブルが抜けた、停電など) すると次の現象が発生することがあります。

・設定したデータ (TeraStation の名称、ユーザ、グループ) が消えてしまうことがあります。

・「HDD エラー」と表示され、TeraStation にアクセスできなくなることがあります。
その場合は、画面の指示に従って、「再起動 (TeraStation)」「HDD 情報の再構成」「HDD のフォーマット」の処理を行ってください。

・不完全なファイルがコピーされ、ファイルが削除できなくなることがあります。
その場合は、TeraStation を再起動してからファイルを削除し、コピー操作をもう一度行ってください。

●TeraStation のハードディスクをフォーマットしても、設定画面での [HDD 使用率] および [HDD 使用量] は 0 にはなりません。これはシステム領域として使用しているためです。

●Windows のネットワークログイン時のユーザ名、パスワードを TeraStation と同じユーザ名、パスワードにしてください。異なる場合、TeraStation のアクセス制限を設けた共有フォルダにアクセスできないことがあります。

●TeraStation に搭載されている OS の仕様上、TeraStation 内ハードディスク、および接続した USB ハードディスクへ保存したファイルの日付情報は更新されることがあります（作成日時、更新アクセスなどの日付情報は保持されません）。

●ハードディスクの容量をブラウザから確認したときと、Windows のドライブのプロパティから確認したときで、値は大きく異なります。

●Windows Me/98SE/98/95 では、OS の仕様によりファミリーログオン時にフォルダの共有ができません。ファミリーログオンではなく、Windows ネットワークログオンからログオンしてください。

●TeraStation に出荷時設定されている guest アカウントを Windows XP/2000 のログイン時に使用した場合、アクセス制限が正常に動作しない場合があります。

●Microsoft ネットワークドメインでログオンしたとき、ドメインに登録されたユーザ名、グループ名を Macintosh ユーザのアクセス制限に使用することはできません。また、ドメインに登録されたユーザを「読取専用」に設定することはできません。

●FTP クライアントソフトウェアでファイルやディレクトリの属性 (読取 / 書込 / 実行など) を変更することはできません。読取専用にしたいときは、P45、58 に記載の手順でおこなってください。

●Jumbo Frame(4100bytes/7418bytes) を使用して、TeraStation にスイッチングハブを接続する場合、Jumbo Frame 非対応のスイッチングハブは使用しないでください。使用するとデータの転送ができなくなります。【P63】

●P55 の手順で TeraStation のデータを別の TeraStation にバックアップするときは、バックアップ元 TeraStation とバックアップ先 TeraStation のイーサネットフレームサイズを同じ値に設定してください。【P63】 イーサネットフレームサイズが異なる場合、正常にバックアップできないことがあります。

●バックアップの設定後にフォーマットや RAID アレイの設定を変更したときは、必ずバックアップの設定も変更してください。バックアップ元の共有フォルダが存在しない場合、エラーが表示されます。

次のページへ続く

●Mac OS X(10.2 以降) で AppleTalk を使用せずに smb を指定して接続する場合、全角文字（日本語など）のファイル名やフォルダ名を使用しないでください。ファイル名やフォルダ名が正常に表示されません。【P21、25】

● Mac OS 9、MacX(AppleTalk 接続) では、拡張子を含めてファイル名が日本語 (全角文字)16 文字 (半角英数の場合 32 文字) 以上のファイルを、TeraStation への新規作成、コピーしても表示させせることができません。

●Macintosh からアクセスされた共有フォルダには、Macintosh 用の情報ファイルが自動生成されることがあります。これらを Windows から削除した場合、Macintosh からアクセスできなくなることがありますので削除はしないでください。

●Macintosh ユーザや FTP ユーザに対してアクセス制限を設定するときは、ユーザ単位で行ってください【P46】。グループ単位で設定すると、アクセス制限した共有フォルダにアクセスできないことがあります。

●次の条件で使用した場合、Macintosh では 2GB 以上のファイルは表示されません。
・Mac OS 8.6、Mac OS 9、Mac OS X(10.1.5 以前) を使用している
・Mac OS X(10.2 以降) で afp を指定して接続している (AppleTalk 接続)【P20、24】

●Macintosh で TeraStation のファームウェアをアップデートすることはできません。アップデートする際は、Windows 搭載パソコンにて行ってください。

●TeraStation は、AppleShareServer が指定するデフォルトゾーンに属します。ゾーンを指定することはできません。

●Mac OS X で FTP を使用するとき、Mac OS 9 以前の Mac OS や Windows と日本語のファイル / フォルダの共有はできません。日本語ファイル / フォルダの共有をしたいときは FTP ではなく、afp を指定して接続 (AppleTalk 接続) してください。【P20、24】

●AppleTalk 接続で新規作成、コピーしたフォルダを FTP クライアントから削除できないことがあります (自動生成される「.AppleDouble」フォルダがドットで始まるフォルダ名ため)。

●FTP 接続でファイル、フォルダを作成する場合、ディレクトリパス名を含めて 250 文字を超えないようにしてください。250 文字を超えた場合、エクスプローラ等で読み出すことも削除することもできなくなります。

●TeraStation 内蔵の時計は長期間使用すると時間がずれることがあります。ずれていたときは修正してください。また時刻は NTP 機能で自動的に修正することもできます。【P44】

次のページへ続く

<< TeraStation の USB コネクタに関する制限 >>

●ハードディスクや UPS 以外の USB 機器 (USB プリンタ、USB ハブ、CD/DVD ドライブ、MO ドライブ、フラッシュメモリ、カードリーダ、マウス、キーボードなど) を接続して使用することはできません。

●USB 機器のホットプラグ・アンプラグには非対応です。USB ケーブルを抜き差しするときは、TeraStation の電源を OFF にしてから行ってください。

●TeraStation の USB コネクタに接続して使用できるハードディスクは 2 台までです。
弊社製ハードディスク以外のハードディスクは対応しておりません (弊社製 DIU/DUB シリーズは非対応)。

※ AUTO 電源機能を搭載したハードディスクを TeraStation に接続しても認識できないときは、「AUTO 電源機能切替スイッチ」を「MANUAL」に設定してください。

※ TeraStation に HD-DU2 シリーズを接続して使用すると、HD-DU2 シリーズのダイレクトコピー機能を使用できません。ダイレクトコピー機能を使用したいときは、HD-DU2 シリーズをパソコンに接続し、HD-DU2 シリーズ付属のフォーマッタでフォーマットしてください。

●USB コネクタに接続したハードディスクは、第 1 パーティション (領域) のみ認識されます。第 2 パーティション以降は認識できません。

●TeraStation の USB コネクタに接続したハードディスクが FAT16/32 形式でフォーマットされている場合、次の制限があります。

・共有フォルダとして割り当ててデータを書き込むことはできません。TeraStation のバックアップ先 (P55) としてお使いください。

・FAT32 形式では 1 ファイル 4GB 以上のデータ (FAT16 形式では 2GB 以上のデータ) はバックアップできません (エラーが発生し、バックアップが途中で停止することがあります)。

・MacOS X で自動生成されたファイル (.DS_Store など) がある場合は、ファイル名に FAT32/16 形式では使用できない文字が含まれているためバックアップできません (エラーが発生し、バックアップが途中で停止することがあります)。

●USB ハードディスク (FAT32 形式) に上書き差分バックアップした場合、差分がなくても上書きバックアップが実行されることがあります。これは FAT32 の仕様によるもので、ファイル作成日の秒数が奇数のファイルは、差分の有無にかかわらず毎回上書きバックアップされます。

次のページへ続く

<<Microsoft ネットワークドメインに関する制限 >>

●TeraStation をドメインでネットワークに参加させるときは、あらかじめドメインコントローラに TeraStation の名称と同一名のコンピュータアカウントを次の方法で登録しておく必要があります。

Windows NT4.0 Server	サーバマネージャでコンピュータアカウントを登録します。
Windows 2000 Server	サーバマネージャ (*) を使用してアカウントを登録してください。 *[ファイル名を指定して実行] より [srvmgr.exe] を入力し [OK] をクリックすると起動します。

●TeraStation は SMB パケットのデジタル署名に対応しておりません。設定によっては Windows Server 2003 で TeraStation をドメインでネットワークに参加させることができないことがあります。【P84】

●Macintosh からはドメインユーザの認証はできません。(※)
※ Mac OS X(10.3 以降) でドメインに参加して smb を指定して接続している場合を除く。

●ドメインネットワークに参加している場合、TeraStation にドメインユーザアカウントを使用して、FTP 接続することはできません。

●TeraStation の名称を変更すると、ドメインでネットワークに参加できなくなります。その場合は、ドメインコントローラのコンピュータアカウントを作成して、再度ネットワークに参加させてください。【P60】

●TeraStation 設定画面のトップ画面に「ドメインコントローラによるアクセス認証は現在無効です」と表示される場合は、コンピュータアカウントをリセットして、再度ドメインに参加させてください。【P84】

●ドメインユーザ名が 20 文字を超える場合、TeraStation は Windows 2000 以前のユーザ名 (20 文字のユーザ名) を取得します。

●TeraStation は、Windows 2000Server 以降のネイティブモードのドメインに対応していません。TeraStation が対応しているドメインは、Windows NT4.0 でのみ構成されたドメインと、Windows 2000Server 以降の混在モードで構成されたドメインです。
※ドメイン名の末尾に「.local」「.net」「.co.jp」などが含まれるドメイン環境では正常に動作しない場合があります。
※ Windows 2000Server 以降のネイティブモードで利用する場合は、認証サーバ連携機能をご利用ください。【P61】

●1000 名を越えるユーザ数をドメインサーバから取得することはできません。

●Microsoft ネットワークドメインでログオンしたときは、ドメインに登録されたグループ名ではアクセス制限を設定することができません。ドメインに登録されたユーザ名でアクセス制限を設定することはできます。ただし、「読取専用」に設定することはできません。

●ログオン認証は LANMAN 認証、NTLM 認証であるドメインに対応します (NTLMv2 認証、Kerberos 認証、SPNEGO 認証は利用できません)。

2 セットアップ(基本編)

TeraStation のセットアップ手順を説明しています。

Windows Vista/XP/2000/Me/98SE/98 でのセットアップ手順

パソコンの電源スイッチを ON にする

付属のユーティリティ CD(CD-ROM) を CD-ROM ドライブにセットする

「TeraNavigator」が起動したら、画面の指示に従って操作する 【別紙「はじめにお読みください」】

⚠注意
- LAN ケーブル、電源ケーブルは TeraNavigator 画面の表示に従って接続します。TeraNavigator を起動する前に接続しないでください。
- TeraStation のセットアップは、Windows Vista/XP/2000/Me/98SE/98 搭載パソコン 1 台から、TeraNavigator を実行することにより完了します。【別紙「はじめにお読みください」】

メモ
- TeraNavigator は自動的に TeraStation の共有フォルダをネットワークドライブとして割り当て、[マイコンピュータ] の中にアイコンを追加します。他のパソコンから TeraStation の共有フォルダに読み出し / 書き込みをするには、P26 の手順でネットワークドライブの割り当てをしてください。
- ネットワーク内に DHCP サーバが存在する場合、TeraStation はネットワークに接続するだけで DHCP クライアントとして動作します。
- TeraNavigator を実行すると、使用されていない IP アドレスを自動的に TeraStation に割り当てます。
  TeraNavigator を実行しないと、TeraStation は出荷時設定の固定 IP アドレス (192.168.11.150) で動作します。
- TeraNavigator で自動設定できるのは 1 台につき 1 回までです。再度 TeraNavigator で自動設定したいときは、P64 を参照して TeraStation の設定を初期化してから行ってください。
- CyberTrio-NX がインストールされている PC98-NX シリーズでは、CyberTrio-NX をアドバンストモード以外のモードで使用していると、Windows の設定が変更できないことがあります。パソコン本体のマニュアルを参照して必ずアドバンストモードに変更してください。

Windows 95/NT4.0、Mac OS でのセットアップ手順

あらかじめ、Windows Vista/XP/2000/Me/98SE/98 搭載パソコンで付属のユーティリティCD(TeraNavigator) より本製品のセットアップを済ませておいてください。【P10】
※ Windows 95/NT4.0、Mac OS では、TeraNavigator でセットアップすることができません。

パソコンをネットワークに接続します。
接続の手順は、パソコンおよびネットワークインターフェースのマニュアルを参照してください。

Windows 95/NT4.0：ネットワークドライブの割り当てを行います。【P30】
Mac OS：ネットワークドライブのマウントを行います。【P15】

NAS Navigator について

NAS Navigator を使えば、TeraStation の設定画面を表示したり、IP アドレスを変更したり、容量を簡単に知ることができます。

Windows Vista/XP/2000/Me/98SE/98 では、TeraNavigator でセットアップすると、NAS Navigator がインストールされます。Mac OS ではインストールすることはできません。

NAS Navigator は OS 起動時にタスクトレイに常駐します。

起動方法：［スタート］－［(すべての）プログラム］－［BUFFALO］－［BUFFALO NAS Navigator］－［BUFFALO NAS Navigator］をクリックします。

画面：

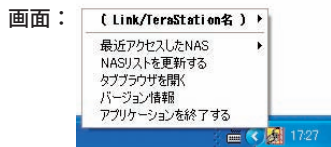
各部の内容

項目		内容
トップ画面	名称	検索され た Link/TeraStation の名称を表示します。複数接続しているときは、Link/TeraStation 名の表示されたタブで表示を切り替えることができます。
	グループ	Link/TeraStation のグループ名を表示します。
	IP アドレス	Link/TeraStation の IP アドレスを表示します。
	ネットマスク	Link/TeraStation のネットマスクを表示します。
	MAC アドレス	Link/TeraStation の MAC アドレスを表示します。
	ファーム	Link/TeraStation のファームウェアバージョンを表示します。
	内蔵 HDD	Link/TeraStation の内蔵ハードディスクの容量、残容量を表示します。 ※表示の容量は、1kbytes=1024bytes で計算しています。
［I'm here］ボタン		クリックすると Link/TeraStation からメロディが鳴ります（対応していない製品では選択できません）。
［再検索］ボタン		表示された Link/TeraStation の共有フォルダを開きます。
［フォルダを開く］ボタン		表示された Link/TeraStation の共有フォルダを開きます。

次のページへ続く

メニュー		
ファイル	フォルダを開く	表示された Link/TeraStation の共有フォルダを開きます。
	再検索	Link/TeraStation を再検索します。
	終了	NAS Navigator の操作画面を閉じます。
設定	WEB 設定画面を表示	Link/TeraStation の設定画面を表示します。
	IP アドレスを変更	Link/TeraStation の IP アドレスを変更画面を表示します。
	起動時に常駐する	OS 起動時に NAS Navigator をタスクトレイに常駐させます。
割り当て	ネットワークドライブの割り当て	検索された Link/TeraStation 共有フォルダをネットワークドライブに割り当てます。
	ネットワークドライブの切断	ネットワークドライブの割り当てを解除します。
	全 Tera/LinkStation の割り当て	検索された全ての Link/TeraStation 共有フォルダをネットワークドライブに割り当てます。
	Tera/LinkStation へのショートカットを作成する	検索された Link/TeraStation、Link/TeraStation の共有フォルダ（share）へのショートカットアイコンをデスクトップに作成します。
ヘルプ	バージョン情報	NAS Navigator のバージョン情報を表示します。

NAS Navigator を最小化した場合、タスクトレイに常駐している NAS Navigator のアイコンから次の操作ができます。

画面：

メニュー		
Link/TeraStation 名	共有フォルダを開く	Link/TeraStation の共有フォルダを開きます。
	Web 設定画面を開く	Link/TeraStation の設定画面を表示します。
	IP アドレスを変更する	Link/TeraStation の IP アドレスを変更画面を表示します。
	ネットワークドライブの切断	ネットワークドライブの割り当てを解除します。
	ショートカットを作成する	検索された Link/TeraStation、Link/TeraStation の共有フォルダ（share）へのショートカットアイコンをデスクトップに作成します。
最近アクセスした NAS		最近アクセスした Link/TeraStation を選択できます。 ※最近アクセスした Link/TeraStation がない場合はこの項目は表示されません。
NAS リストを更新する		Link/TeraStation を再検索します。
タブブラウザを開く		NAS Navigator の操作画面を表示します。
バージョン情報		NAS Navigator のバージョン情報を表示します。
アプリケーションを終了する		NAS Navigator を終了します。

ファイル共有セキュリティレベル変更ツールについて

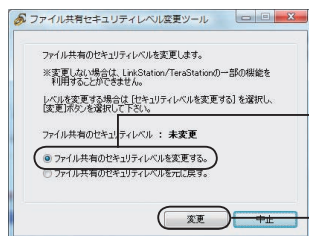
Windows Vista で TeraStation にアクセス制限【P60】を設定するには、ファイル共有セキュリティレベル変更ツールで Windows のセキュリティレベルを変更する必要があります。セキュリティレベルの変更は、次の手順で行います。

※ Windows Vista のみインストールされます。
※初期セットアップ中、「セキュリティレベルを変更します。よろしいですか？」と表示されます。[はい] をクリックしたときは、画面の指示にしたがってパソコンを再起動してください。

1 [スタート]-[BUFFALO]-[ファイル共有セキュリティレベル変更ツール]-[ファイル共有セキュリティレベル変更ツール] をクリックします。

ファイル共有セキュリティレベル変更ツールが起動します。

メモ 「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたときは、[続行] をクリックしてください。

2

① TeraStation にアクセス制限を設定するときは、[ファイル共有のセキュリティレベルを変更する] を選択します。

② [変更] をクリックします。

3 「セキュリティレベルを変更します」と表示されたら、[はい] をクリックします。

4 「今すぐ再起動しますか?」と表示されたら、[はい] をクリックします。

パソコンが再起動します。

以上でセキュリティレベルの変更は完了です。

注意 アクセス制限を設定しないときは、次の手順で元に戻すことができます。

1.[スタート]-[BUFFALO]-[ファイル共有セキュリティレベル変更ツール]-[ファイル共有セキュリティレベル変更ツール] をクリックします。
※「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[続行] をクリックしてください。
2.「認証サーバ連携機能を利用したアクセス制限」を設定するときは、[ファイル共有のセキュリティレベルを元に戻す] を選択します。
3.[変更] をクリックします。

以上で元に戻す設定は完了です。

ネットワークドライブのマウント

Mac OS 8.6 ～ 9.2.2

⚠注意 Macintosh でドライブをマウントする前に、あらかじめ Windows 搭載パソコンから TeraNavigator を実行して TeraStation のセットアップを済ませておいてください。その際に、TeraStation の IP アドレスをメモしてください。

1 アップルメニューから、[コントロールパネル]-[AppleTalk] をクリックします。

2

メモ 「・・・保存しますか？」と表示されたときは、[保存] をクリックします。

3 アップルメニューから、[コントロールパネル]-[TCP/IP] をクリックします。

4

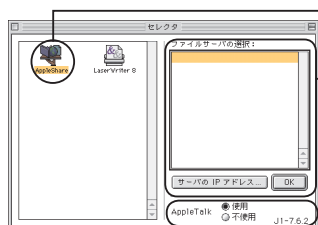
メモ 「・・・保存しますか？」と表示されたときは、[保存] をクリックします。

お使いのネットワークに DHCP サーバが無いときは、[設定方法] から [手入力] を選択し、IP アドレス、サブネットマスクなどの各値を入力してください。

例) IP アドレス：192.168.11.151　サブネットマスク：255.255.255.0

5 アップルメニューから [セレクタ] をクリックします。

次のページへ続く

6

① [AppleShare] をクリックします。

② [ファイルサーバの選択] から TeraStation 名を選択し、[OK] をクリックします。

※ [AppleTalk] は、必ず [使用] を選択してください。

メモ TeraStation 名は、「TS-TGLxxx」と表示されます。下線部は TeraStation の MAC アドレス末尾 3 桁です。お使いの製品によって異なります。

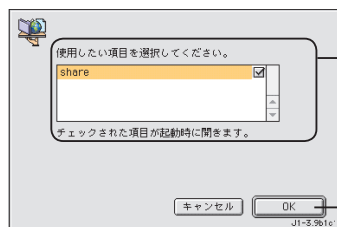
ドライブ名が表示されないときは、[サーバの IP アドレス] をクリックし、TeraStation の IP アドレスを入力してください。それでも表示されないときは、Windows パソコンから設定画面でディスクをチェックしてください。ディスクをチェックすることで改善することがあります。【P48】

7

① [ゲスト] をクリックします。

② [接続] をクリックします。

メモ Windows 搭載パソコンでセットアップした際に、TeraStation の共有フォルダにアクセス権限を設定した方は、[登録利用者] を選択し、名前とパスワードを入力し、[接続] をクリックしてください。

8

① TeraStation の共有フォルダを選択します。

⚠注意 選択する場合、1 個の共有フォルダだけを選択してください。2 個以上選択すると起動時にマウントできないことがあります。

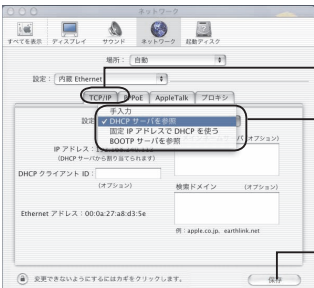
② [OK] をクリックします。

メモ 共有フォルダの右にあるチェックボックスをクリックして、チェックマークを表示させておくと、次回 Macintosh を起動したときに、自動的に TeraStation の共有フォルダをマウントします。

9 マウントされるとデスクトップ画面に右のアイコンが表示されます。

表示される文字は共有フォルダ名が表示されます。設定しているフォルダ名によって文字は異なります。

share

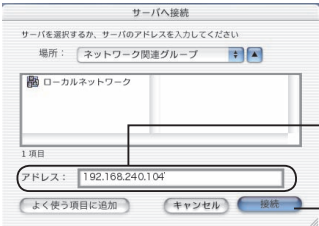
メモ アンマウントするには、アイコンをゴミ箱へドラッグ & ドロップしてください。

Mac OS X(10.0.4 ～ 10.1.5)

⚠注意 Macintosh でドライブをマウントする前に、あらかじめ Windows 搭載パソコンから TeraNavigator を実行して TeraStation のセットアップを済ませておいてください。その際に、TeraStation の IP アドレスをメモしてください。

1 **アップルメニューから、[システム環境設定 ...] をクリックします。**

2

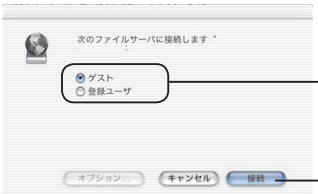
[ネットワーク] アイコンをクリックします。

3

[内蔵 Ethernet] を選択します。

4

① [TCP/IP] タブをクリックします。

② [DHCP サーバを参照] をクリックします。

③ [保存] をクリックします。

お使いのネットワークに DHCP サーバが無いときは、[設定方法] から [手入力] を選択し、IP アドレス、サブネットマスクなどの各値を入力してください。

例) IP アドレス：192.168.11.151　サブネットマスク：255.255.255.0

次のページへ続く

5 ファインダーを選択して、ファインダーのメニューから、[移動]-[サーバへ接続 ...] をクリックします。

6

メモ TeraStation の IP アドレスは、Windows 搭載パソコンでご確認ください。
マウントできないときは、Windows パソコンから設定画面でディスクをチェックしてください。ディスクをチェックすることで改善することがあります。【P48】

7

メモ Windows 搭載パソコンでセットアップした際に、TeraStation の共有フォルダにアクセス権限を設定した方は、[登録ユーザ] を選択し、名前とパスワードを入力し、[接続] をクリックしてください。

8

9 マウントされるとデスクトップ画面に右のアイコンが表示されます。

表示される文字は共有フォルダ名が表示されます。設定しているフォルダ名によって文字は異なります。

メモ アンマウントするには、アイコンをゴミ箱へドラッグ & ドロップしてください。

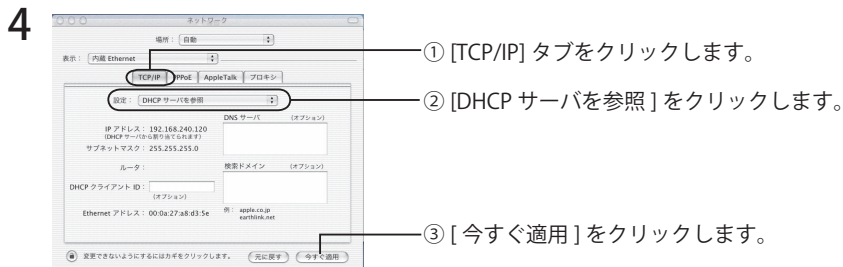
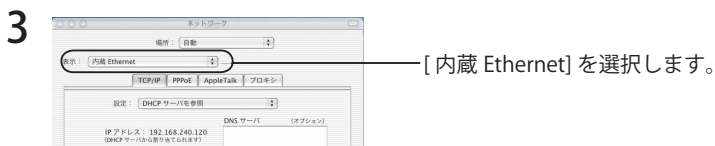
Mac OS X(10.2 ～ 10.2.8)

⚠注意 Macintosh でドライブをマウントする前に、あらかじめ Windows 搭載パソコンから TeraNavigator を実行して TeraStation のセットアップを済ませておいてください。その際に、TeraStation の IP アドレスをメモしてください。

1 アップルメニューから、[システム環境設定 ...] をクリックします。

2

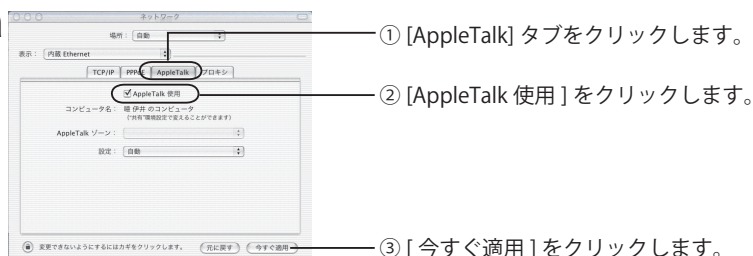
3

4

お使いのネットワークにDHCP サーバが無いときは、[設定] から [手入力] を選択し、IP アドレス、サブネットマスクなどの各値を入力してください。

例) IP アドレス：192.168.11.151　サブネットマスク：255.255.255.0

TeraStation の Macintosh 用共有フォルダにアクセスする場合

次のページへ続く

TeraStation の Macintosh 用共有フォルダにアクセスする場合

5a

① [AppleTalk] タブをクリックします。

② [AppleTalk 使用] をクリックします。

③ [今すぐ適用] をクリックします。

6a ファインダーを選択して、ファインダーのメニューから、[移動]-[サーバへ接続 ...] をクリックします。

7a

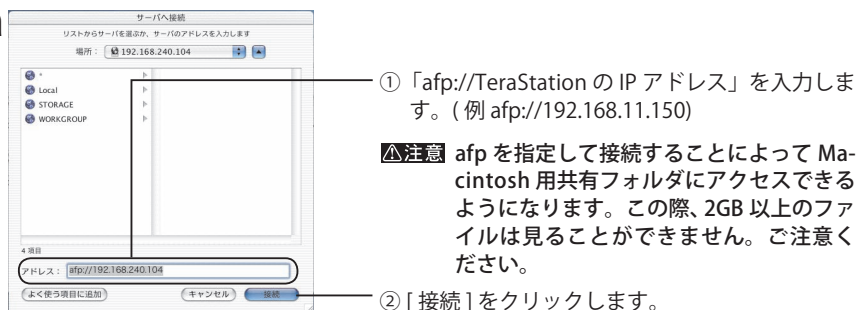
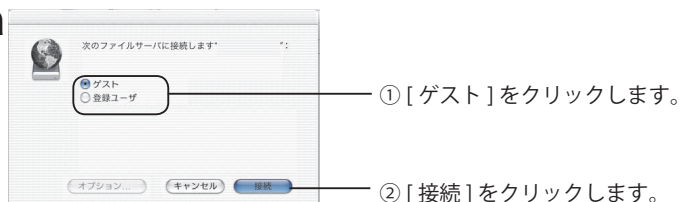
①「afp://TeraStation の IP アドレス」を入力します。(例 afp://192.168.11.150)

⚠注意 afp を指定して接続することによって Macintosh 用共有フォルダにアクセスできるようになります。この際、2GB 以上のファイルは見ることができません。ご注意ください。

② [接続] をクリックします。

メモ マウントできないときは、Windows パソコンから設定画面でディスクをチェックしてください。ディスクをチェックすることで改善することがあります。【P48】

8a

① [ゲスト] をクリックします。

② [接続] をクリックします。

メモ Windows 搭載パソコンでセットアップした際に、TeraStation の共有フォルダにアクセス権限を設定した方は、[登録ユーザ] を選択し、名前とパスワードを入力し、[接続] をクリックしてください。

次のページへ続く

9a

① TeraStation の共有フォルダをクリックします。

② [OK] をクリックします。

10a マウントされるとデスクトップ画面に右のアイコンが表示されます。

表示される文字は共有フォルダ名が表示されます。設定しているフォルダ名によって文字は異なります。

メモ アンマウントするには､アイコンをゴミ箱へドラッグ & ドロップしてください｡

TeraStation の Windows 用共有フォルダにアクセスする場合

5b ファインダーを選択して、ファインダーのメニューから、[移動]-[サーバへ接続 ...] をクリックします。

6b

①「smb://TeraStation の IP アドレス」を入力します。(例 smb://192.168.11.150)

⚠注意 smb を指定して接続することによって Windows 用共有フォルダにアクセスできるようになります。この際､全角文字 (日本語など) のファイル名やフォルダ名は正常に表示されません。ご注意ください。

② [接続] をクリックします。

7b

① TeraStation の共有フォルダをクリックします。

② [OK] をクリックします。

次のページへ続く

8b

① [ユーザ名]、[パスワード] を空欄のままにします。

メモ Windows 搭載パソコンでセットアップした際に、TeraStation の共有フォルダにアクセス権限を設定した方は、ユーザ名とパスワードを入力し、[OK] をクリックしてください。

② [OK] をクリックします。

9b

マウントされるとデスクトップ画面に右のアイコンが表示されます。

表示される文字は共有フォルダ名が表示されます。設定しているフォルダ名によって文字は異なります。

メモ アンマウントするには、アイコンをゴミ箱へドラッグ & ドロップしてください。

Mac OS X(10.3 ～ 10.4)

⚠注意 Macintosh でドライブをマウントする前に、あらかじめ Windows 搭載パソコンから TeraNavigator を実行して TeraStation のセットアップを済ませておいてください。その際に、TeraStation の IP アドレスをメモしてください。

メモ 画面は Mac OS X 10.3 の例です。Mac OS 10.4 をお使いの場合、一部画面が異なります。

1 **アップルメニューから、[システム環境設定 ...] をクリックします。**

2

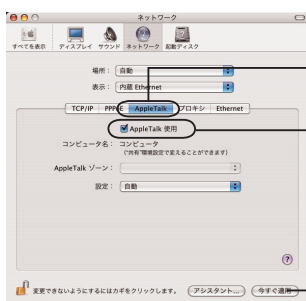
3

4

お使いのネットワークに DHCP サーバが無いときは、[設定] から [手入力] を選択し、IP アドレス、サブネットマスクなどの各値を入力してください。

例) IP アドレス：192.168.11.151　サブネットマスク：255.255.255.0

次のページへ続く

TeraStation の Macintosh 用共有フォルダにアクセスする場合

5a

① [AppleTalk] タブをクリックします。

② [AppleTalk 使用] をクリックします。

③ [今すぐ適用] をクリックします。

6a ファインダーを選択して、ファインダーのメニューから、[移動]-[サーバへ接続 ...] をクリックします。

7a

①「afp://TeraStation の IP アドレス」を入力します。(例 afp://192.168.11.150)

⚠注意 afp を指定して接続することによって Macintosh 用共有フォルダにアクセスできるようになります。この際、2GB 以上のファイルは見ることができません。ご注意ください。

② [接続] をクリックします。

メモ マウントできないときは、Windows パソコンから設定画面でディスクをチェックしてください。ディスクをチェックすることで改善することがあります。【P48】

8a

① [ゲスト] をクリックします。

② [接続] をクリックします。

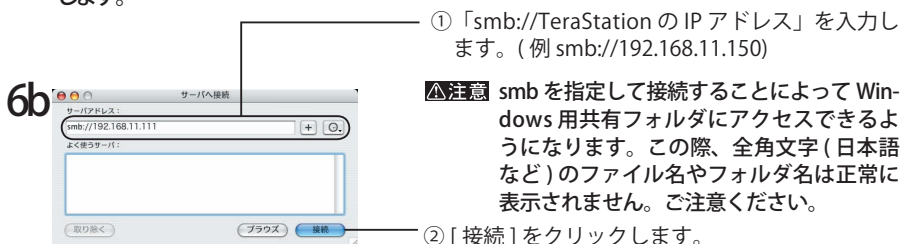
メモ Windows 搭載パソコンでセットアップした際に、TeraStation の共有フォルダにアクセス権限を設定した方は、[登録ユーザ] を選択し、名前とパスワードを入力し、[接続] をクリックしてください。

9a TeraStation の共有フォルダを選択し、[OK] をクリックします。

10a マウントされるとデスクトップ画面に右のアイコンが表示されます。

表示される文字は共有フォルダ名が表示されます。設定しているフォルダ名によって文字は異なります。

メモ アンマウントするには、アイコンをゴミ箱へドラッグ & ドロップしてください。

次のページへ続く

TeraStation の Windows 用共有フォルダにアクセスする場合

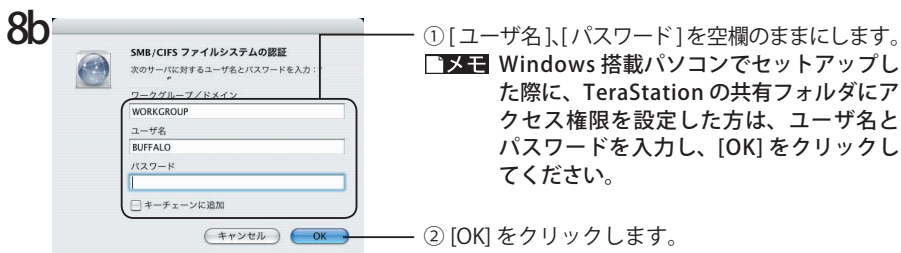
5b ファインダーを選択して、ファインダーのメニューから、[移動]-[サーバへ接続 ...] をクリックします。

6b

①「smb://TeraStation の IP アドレス」を入力します。(例 smb://192.168.11.150)

⚠注意 smb を指定して接続することによって Windows 用共有フォルダにアクセスできるようになります。この際、全角文字 (日本語など) のファイル名やフォルダ名は正常に表示されません。ご注意ください。

② [接続] をクリックします。

7b TeraStation の共有フォルダを選択し、[OK] をクリックします。

8b

① [ユーザ名]、[パスワード] を空欄のままにします。

メモ Windows 搭載パソコンでセットアップした際に、TeraStation の共有フォルダにアクセス権限を設定した方は、ユーザ名とパスワードを入力し、[OK] をクリックしてください。

② [OK] をクリックします。

9b マウントされるとデスクトップ画面に右のアイコンが表示されます。

表示される文字は共有フォルダ名が表示されます。設定しているフォルダ名によって文字は異なります。

メモ アンマウントするには、アイコンをゴミ箱へドラッグ & ドロップしてください。

3 セットアップ（応用編）

ネットワークドライブの割り当て、IP アドレス変更、TeraStation の複数台増設などを説明しています。

ネットワークドライブの割り当て

設定を行うパソコンでは、TeraNavigator を使用すれば自動的にネットワークドライブが割り当てられ、マイコンピュータの中に TeraStation のネットワークドライブのアイコンが追加されています。
設定を行うパソコン以外で使用するには、以下の手順でネットワークドライブを割り当ててお使いください。

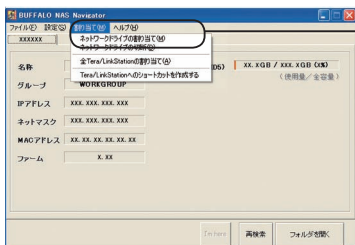
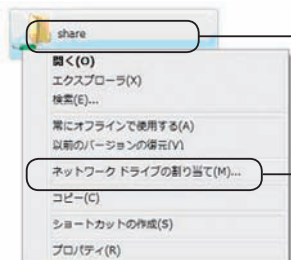
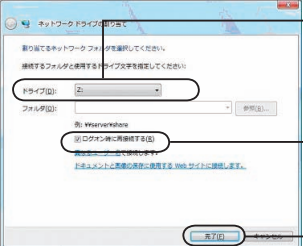
NAS Navigator（Windows Vista/XP/2000/Me/98SE/98）

Windows Vista/XP/2000/Me/98SE/98 では、付属の NAS Navigator を使って簡単に TeraStation の share フォルダをネットワークドライブとして割り当てることができます。

1 ［スタート］－［(すべての) プログラム］－［BUFFALO］－［BUFFALO NAS Navigator］－［BUFFALO NAS Navigator］をクリックします。

NAS Navigator が起動します。

2

NAS Navigator のメニューから［割り当て］－［ネットワークドライブの割り当て］をクリックします。

3 ［マイコンピュータ］の中に、TeraStation のネットワークドライブのアイコンが追加されています。他のハードディスクと同様の操作でネットワークドライブを使用できます。

⚠注意 パソコン起動時に、TeraStation がネットワークに接続されていなかったり、電源が OFF の状態になっているときは、「ネットワークパスが見つかりません。この接続は復元されませんでした」と表示されます。

Windows Vista

1 [スタート]-[ネットワーク] をクリックします。

2 TeraStation のアイコンをダブルクリックします。

3

① TeraStation 内の共有フォルダのアイコンを右クリックします。

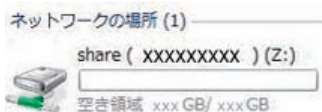
② [ネットワーク ドライブの割り当て] をクリックします。

4

① ドライブ名を選択します。

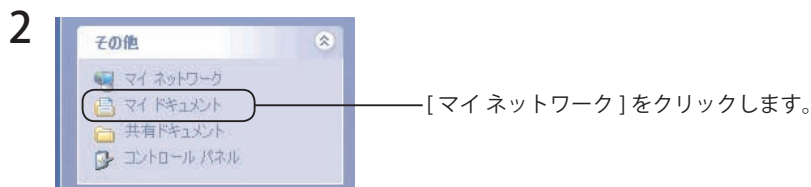
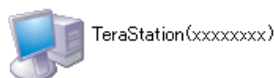
② [ログオン時に再接続する] のチェックボックスをクリックし、チェックマークを入れます。

③ [完了] をクリックします。

5 [マイ コンピュータ] の中に、TeraStation のネットワークドライブのアイコンが追加されています。他のハードディスクと同様の操作でネットワークドライブを使用できます。

⚠注意 パソコン起動時に、TeraStation がネットワークに接続されていなかったり、電源が OFF の状態になっているときは、「ネットワークドライブに再接続できませんでした」と表示されます。

Windows XP

1 [スタート]-[マイ コンピュータ] をクリックします。

2

3 [TeraStation] アイコンをダブルクリックします。

メモ 上記のアイコンが無いときは、次の手順を行ってください。

1 [ワークグループのコンピュータを表示する] をクリックします。
2 [Microsoft Windows Network] アイコンをクリックします。
3 TeraStation があるワークグループ (例:WORKGROUP) のアイコンをクリックします。
※ワークグループの名称は TeraStation の設定によって異なります。初期設定では、設定を行うパソコンが所属しているワークグループ名称です。
4 [TeraStation] アイコンをダブルクリックし、手順 4 以降に従ってください。

4

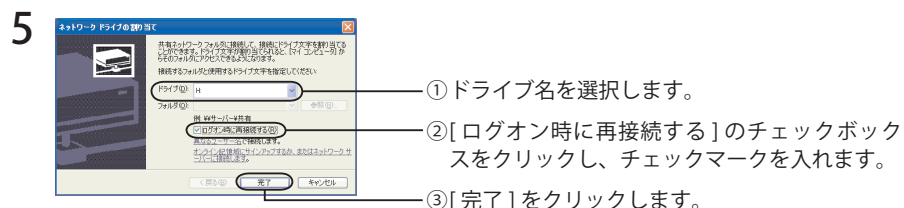
①TeraStation 内の共有フォルダのアイコンを右クリックします。

②[ネットワーク ドライブの割り当て] をクリックします。

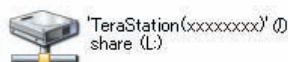
5

① ドライブ名を選択します。

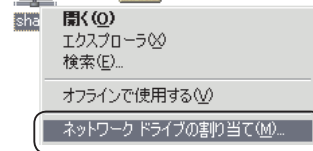
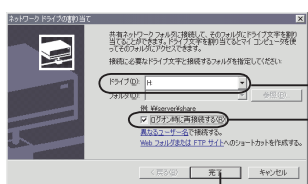
②[ログオン時に再接続する] のチェックボックスをクリックし、チェックマークを入れます。

③[完了] をクリックします。

6 [マイ コンピュータ] の中に、TeraStation のネットワークドライブのアイコンが追加されています。他のハードディスクと同様の操作でネットワークドライブを使用できます。

注意 パソコン起動時に、TeraStation がネットワークに接続されていなかったり、電源が OFF の状態になっているときは、「ネットワークパスが見つかりません。この接続は復元されませんでした」と表示されます。

Windows 2000

1 デスクトップ画面の [マイ ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。

2 [ネットワーク全体] アイコンをダブルクリックします。

3 [ネットワークの全内容を表示することもできます。] をクリックします。

4 [Microsoft Windows Network] アイコンをダブルクリックします。

5 TeraStation があるワークグループのアイコンをダブルクリックします。

メモ　ワークグループ名称は TeraStation 設定によって異なります。初期設定では、設定を行うパソコンが所属しているワークグループ名称です。

6 [TS-TGLxxx] アイコンをダブルクリックします。

下線部は TeraStation の MAC アドレス末尾 3 桁です。お使いの製品によって異なります。

7

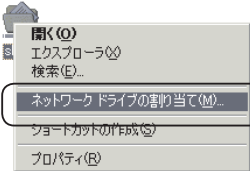
8

9 [マイ コンピュータ] の中に、TeraStation のネットワークドライブのアイコンが追加されています。他のハードディスクと同様の操作でネットワークドライブを使用できます。

⚠注意　パソコン起動時に、TeraStation がネットワークに接続されていなかったり、電源が OFF の状態になっているときは、「再接続するときにエラーが発生しました。(中略) この接続は復元されませんでした。」と表示されます。

Windows Me/98SE/98/95/NT4.0

1 デスクトップ画面の [マイ ネットワーク (ネットワークコンピュータ)] アイコンをダブルクリックします。

2 [ネットワーク全体] アイコンをダブルクリックします。

Windows Me をお使いの場合は、[このフォルダの内容をすべて表示する] をクリックしてください。

3 TeraStation があるワークグループのアイコンをダブルクリックします。

メモ ワークグループ名称は TeraStation 設定によって異なります。初期設定では、設定を行うパソコンが所属しているワークグループ名称です。

4 [TS-TGLxxx] アイコンをダブルクリックします。

下線部は TeraStation の MAC アドレス末尾 3 桁です。お使いの製品によって異なります。

5

①TeraStation 内の共有フォルダのアイコンを右クリックします。

②[ネットワーク ドライブの割り当て] をクリックします。

※画面は Windows Me の例です。

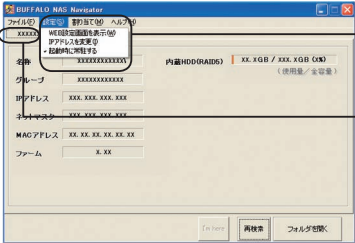
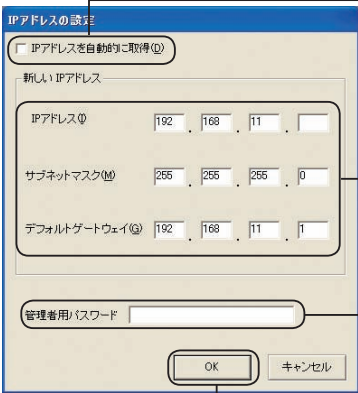
6

① ドライブ名を選択します。

②[OK] をクリックします。

※[ログオン時に再接続] のチェックボックスをクリックし、チェックマークを入れます。

7 [マイ コンピュータ] の中に、TeraStation のネットワークドライブのアイコンが追加されています。他のハードディスクと同様の操作でネットワークドライブを使用できます。

注意 パソコン起動時に、TeraStation がネットワークに接続されていなかったり、電源が OFF の状態になっているときは、「接続中に次のエラーが発生しました。常設の接続は利用できません。」と表示されます。

TeraStation の IP アドレスを変更したいとき

TeraStation と他のネットワーク製品の IP アドレスが競合している場合、TeraStatin の IP アドレスを変更しないと使用できません。
TeraStation の IP アドレスの変更には、付属の NAS Navigator をお使いください。

1 ［スタート］－［（すべての）プログラム］－［BUFFALO］－［BUFFALO NAS Navigator］－［BUFFALO NAS Navigator］をクリックします。

NAS Navigator が起動します。

2

[設定]-[IP アドレスを変更] をクリックします。

※ TeraStation が 2 台以上接続されているときは、タブが複数表示されます。IP アドレスを変更したい TeraStation を選択してください。

3

※ チェックを入れると IP アドレスを DHCP サーバから再度自動的に割り当てられるようにします。ネットワーク内に DHCP サーバが無いときは、この機能は使用できません。

変更したい IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力します。

※ ブラウザからの TeraStation の設定画面でパスワードを設定したときに、同じパスワードをこちらへ入力しないと IP アドレスは変更できません。

[OK] をクリックします。

以上で IP アドレスの変更は完了です。

2 台以上 TeraStation を増設したいとき

付属のユーティリティ CD で、TeraNavigator を追加した TeraStation の台数と同じ回数実行してください。

⚠注意 ネットワーク内に DHCP サーバが存在しないときは、TeraNavigator を実行しないと TeraStation の IP アドレスが全て 192.168.11.150(出荷時設定) になっています。このままでは TeraStation 同士で IP アドレスが競合してしまい使用できません。TeraNavigator を TeraStation の台数と同じ回数実行するか、P31 を参照して重複しないよう IP アドレスを変更してください。

ハードディスクの使用モードを変更したいとき

出荷時設定では、使用モードは RAID5 モードとなっています。RAID1 モード、スパニングモード、通常モードで使用したいときは次の手順でモードを変更してください。

⚠注意 ハードディスクの使用モードを変更すると、ハードディスク内のデータは全て消去されます。変更するまえに大切なデータがを失うこことがないよう必ずバックアップをとってください。

● RAID5 モード
TeraStation に内蔵されている 4 台のハードディスクを 1 台のドライブとして使用したいときに設定してください。RAID5 では、万が一ハードディスクが 1 台故障しても新しいハードディスクに交換してデータを復旧することができます (2 台以上故障したときは復旧できません)。また RAID 構築中は前面の液晶ディスプレイに「RAID ARRAY x Resyncing」と表示され、ファイル転送速度が数時間低下します。あらかじめご了承ください。

● RAID1 モード
TeraStation に内蔵されている 4 台のハードディスクを 2 台のドライブとして使用したいときに設定してください。RAID1 では、万が一ハードディスクが 1 台故障しても新しいハードディスクに交換してデータを復旧することができます (RAID1 を構築しているハードディスクが 2 台とも故障した場合はデータを復旧することはできません)。また RAID 構築中は前面の液晶ディスプレイに「RAID ARRAY x Resyncing」と表示され、ファイル転送速度が数時間低下します。あらかじめご了承ください。

●スパニングモード
TeraStation に内蔵されている 4 台のハードディスクを 1 台のドライブとして使用したいときに設定してください。

⚠注意 スパニングモードでは、ハードディスクが 1 台でも故障するとデータを全て失います。復旧することはできません。

●通常モード
TeraStation に内蔵されている 4 台のハードディスクを 4 台のドライブとして使用したいときに設定してください。

⚠注意 通常モードでは、ハードディスクが故障するとそのハードディスク内のデータを全て失います。復旧することはできません。

メモ 本書では、「復旧」とは、TeraStation 内の状態 (データを含む) を故障が発生する前に戻すことを表しています。故障したハードディスクからデータを読み出すことではありません。

次のページへ続く

通常モードで使用する

1 P41の手順で設定画面を表示します。

2 [ディスク管理]-[RAID 設定]をクリックします。

3

RAID設定

名称	RAIDモード	構成ディスク	容量
RAIDアレイ1	RAID5	ディスク1,ディスク2,ディスク3,ディスク4	1115.7 GB
RAIDアレイ2	設定されていません		

設定したいアレイをクリックします。

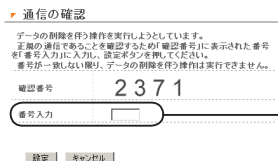
4 [RAID アレイの削除]をクリックします。

メモ RAID 設定変更中は前面の液晶ディスプレイに「RAID ARRAY x Creating」と表示されます。

5 [通信の確認]画面が表示されます。

60 秒以内に確認番号欄に表示されている数字を正確に入力し、[設定]をクリックします。

6 以降は画面の指示にしたがって操作します。

以上で通常モードの設定が完了しました。
続いて P45 の手順を参照して共有フォルダを作成してください。

誤操作によるトラブルを防ぐために(「通信の確認」画面)

下記の処理を行うとき、誤操作によるトラブルを防ぐために、通信の確認画面が表示されます。

- RAID アレイの構成変更(作成/削除)
- 共有フォルダの削除
- TeraStation の初期化
- TeraStation の全ディスクの完全フォーマット

60 秒以内に確認番号欄に表示されている数字を正確に入力し、[設定]をクリックします。

通信の確認画面

RAID1 モードで使用する

1 P33「通常モードで使用する」を参照して通常モードへの設定変更を完了させせます。

2 [ディスク管理]-[RAID 設定]をクリックします。

3

4

⚠注意 RAID 構築中はファイル転送速度が数時間 (例：TS-1.0TGL/R5 で約 6 時間) 低下します。前面の液晶ディスプレイに「RAID ARRAY x Resyncing」と表示されているときは電源 OFF にしないでください。OFF にすると再度はじめから設定処理を行います。

5 [通信の確認] 画面が表示されます。

60 秒以内に確認番号欄に表示されている数字を正確に入力し、[設定] をクリックします。

6 以降は画面の指示にしたがって操作します。

以上で RAID1 の設定が完了しました。
続いて P45 の手順を参照して共有フォルダを作成してください。

スパニングモードで使用する

1 P33「通常モードで使用する」を参照して通常モードへの設定変更を完了させます。

2 [ディスク管理]-[RAID 設定] をクリックします。

メモ RAID 設定変更中は前面の液晶ディスプレイに「RAID ARRAY x Creating」と表示されます。

5 [通信の確認] 画面が表示されます。

60 秒以内に確認番号欄に表示されている数字を正確に入力し、[設定] をクリックします。

6 以降は画面の指示にしたがって操作します。

以上でスパニングの設定が完了しました。
続いて P45 の手順を参照して共有フォルダを作成してください。

RAID5 モードで使用する

TeraStation は出荷時に RAID5 モードに設定されています。他のモードを変更した後に RAID5 モードに戻すときは、次のように設定してください。

1 P33「通常モードで使用する」を参照して通常モードへの設定変更を完了させます。

2 [ディスク管理]-[RAID 設定] をクリックします。

⚠注意 RAID 構築中はファイル転送速度が数時間 (例：TS-1.0TGL/R5 で約 6 時間) 低下します。前面の液晶ディスプレイに「RAID ARRAY x Resyncing」と表示されているときは、電源 OFF にしないでください。OFF にすると再度はじめから設定処理を行います。

5 [通信の確認] 画面が表示されます。

60 秒以内に確認番号欄に表示されている数字を正確に入力し、[設定] をクリックします。

6 以降は画面の指示にしたがって操作します。

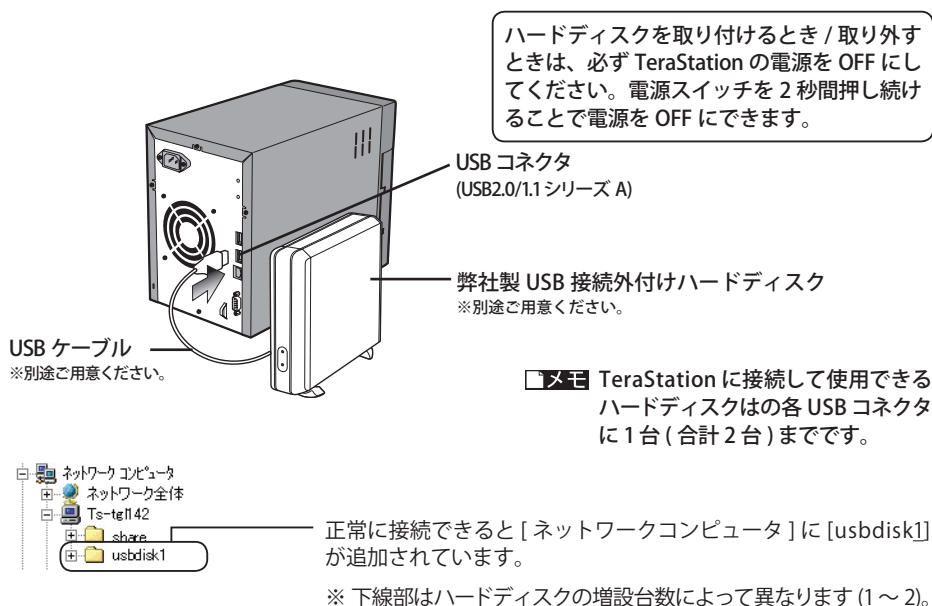
以上で RAID5 の設定が完了しました。
続いて P45 の手順を参照して共有フォルダを作成してください。

TeraStation にハードディスクを増設したいとき

TeraStation には背面に USB コネクタ (USB2.0/1.1 シリーズ A) を 2 個装備しています。USB コネクタには弊社製ハードディスクを増設して、TeraStation の共有フォルダを追加することができます。

⚠注意 「TeraStation の USB コネクタに関する制限」【P8】を必ずお読みください。

ハードディスクの接続

図のように接続をしてください。フォーマット済みのハードディスクであれば自動的に認識されます。未フォーマットの場合、P38 の手順でフォーマットしてください。

⚠注意 増設には弊社製 USB 接続外付けハードディスク (DUB/DIU シリーズは非対応です) などをお使いください。

・MacOS X で自動生成されたファイル (.DS_Store など) がある場合は、ファイル名に FAT32/16 形式では使用できない文字が含まれているためバックアップできません (エラーが発生し、バックアップが途中で停止することがあります)。

増設したハードディスクをフォーマットする

TeraStation に接続したハードディスクは、次の手順でフォーマットできます。

1 P41 の手順で設定画面を表示します。

2 [ディスク管理]-[フォーマット] をクリックします。

3

フォーマット

フォーマット対象ディスク　USBディスク1

フォーマット形式　FAT32

警告

フォーマットを実行する前に本TeraStationが他のTeraStationのバックアップデバイスとして設定されていないことを確認して下さい。
バックアップデバイスとして設定されている場合はフォーマットを実行しないで下さい。
またフォーマットを実行すると、保存されているデータも消去されます。
フォーマットを実行する前にバックアップデータの有無を必ず確認して下さい。

フォーマット対象ディスクを選択　キャンセル

① 増設したハードディスクを選択します。
② フォーマット形式 (※) を選択します。
③ [フォーマット対象ディスクを選択] をクリックします。

※フォーマット形式について
選択できるフォーマット形式は次の 3 つです。

フォーマット形式	利点	欠点
FAT32 ハードディスクをパソコンに接続しなおしてデータを確認したい場合におすすめします。	万が一 TeraStation が故障しても、Windows パソコンに接続して使用することができます。	・読取専用 (バックアップ時のみ書込可能)。 ・1 ファイル 2GB 以上のデータはコピー、バックアップできません。 ・「：」など Mac OS X で使用する一部の文字が使用できません。
EXT3 LinkStation に接続しなおして使用することがある場合におすすめします。	・読取 / 書込どちらもできます。 ・ジャーナリングファイルシステム対応。 ・LinkStation に接続しても使用可能。	・フォーマットに時間がかかります (数分～ 10 分)。 ・フォーマット後に使用できる容量が XFS に比べて少ない。 ・1 つのフォルダにファイルの数が多くなるほどアクセスが遅くなります。
XFS TeraStation でしか増設したハードディスクを使用しない場合におすすめします。	・読取 / 書込どちらもできます。 ・ジャーナリングファイルシステム対応。 ・フォーマット後に使用できる容量が EXT3 に比べて多い。 ・1 つのフォルダにファイルの数が多くなってもアクセスが遅くならない。	TeraStation 専用 (LinkStation で使用不可)
NTFS TeraStation の設定画面ではフォーマットできません。読取専用です。	Windows Vista/XP/2000 に接続して使用することができます。	・読取専用 (バックアップ時も書込不可) ・TeraStation の仕様により、ファイル名フォルダ名に使用されている日本語 (2 バイト文字) は全て文字化けします。

⚠注意
・フォーマットするとハードディスク内のデータが全て消去されます。
・フォーマットするとハードディスクのパーティションも削除されます。

4 画面の情報・注意・警告をよく読み、[フォーマットを開始] をクリックします。

次のページへ続く

5 [通信の確認] 画面が表示されます。

60 秒以内に確認番号欄に表示されている数字を正確に入力し、[設定] をクリックします。

6 以降は画面の指示にしたがって操作します。

⚠注意 フォーマットが終了するまで共有フォルダの設定やファイル共有サービスなどの機能は使用できません (フォーマット完了後使用できます)。

以上でハードディスクのフォーマットは完了です。

増設したハードディスクにアクセス制限をする

増設したハードディスクにもアクセス制限を設定することができます。P47 の手順でアクセス制限することができます。

メモ 共有フォルダが見えなくても、フォーマット、ディスクチェック、バックアップを増設したハードディスクに実行することはできます。

増設に 3 台以上ハードディスクを使用する

TeraStation に増設できるハードディスクは、各 USB ポートに 1 台 (合計 2 台) までです。付け替えることで 3 台以上のハードディスクを使用することができますが、その際は次の手順で一度 USB ディスクの割り当てを解除する必要があります。

1 **TeraStation の電源を OFF にし、使用しない USB ディスクを取り外します。**
※電源スイッチを 2 秒間押し続けることで電源を OFF にできます。

2 **P41 の手順で設定画面を表示します。**

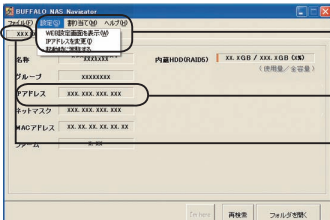
3 **[ディスク管理]-[USB ディスク設定] をクリックします。**

4

5 **[USB ディスクの割当て解除] をクリックします。**

6 **TeraStation に使用したい USB ディスクを取り付けます。**
自動的に USB ディスクとして割り当てられます。

以上で設定は完了です。

4 詳細設定(応用編)

TeraStation の設定手順を説明しています。
共有フォルダの作成、アクセス権限などを設定したいときに行ってください。

設定画面の表示方法

設定画面を表示するときは、次の手順で行います。

1 **［スタート］－［(すべての）プログラム］－［BUFFALO］－［BUFFALO NAS Navigator］－［BUFFALO NAS Navigator］をクリックします。**

NAS Navigator が起動します。

2

① [設定]-[WEB 設定画面を表示] をクリックします。

②IP アドレスをメモしてください。

※ TeraStation が 2 台以上接続されているときは、タブが複数表示されます。IP アドレスを変更したい TeraStation を選択してください。

3

① ユーザ名、パスワードを入力します。
はじめて設定画面を表示するときは、パスワードは TeraNavigator で設定したパスワードにしてください。

② [OK] をクリックします。

メモ **はじめて設定画面を表示するときは、ユーザ名に admin、パスワードは初期設定で設定したパスワードを入力し、[OK] をクリックします。**

二度目以降の設定画面表示で、登録したユーザ名でログインするときは、任意のユーザ名、設定画面で登録したパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

ゲストとしてログインするときは、ユーザ名に guest、パスワード無しで [OK] をクリックします。

次のページへ続く

4 設定画面が表示されます。

⚠注意
- ブラウザには Microsoft Internet Explorer6 以降をお使いください。
- ブラウザのプロキシが有効に設定されていると、設定画面が正常に表示できません。P74 を参照して無効にしてください。
- セキュリティ設定によっては設定画面が正常に表示されないことがあります。Internet Explorer のメニュー、[ツール]-[インターネットオプション]-[セキュリティ] のセキュリティレベルは [イントラネット] に設定してください。

TeraStation の現在の状態 (TeraStation 名、IP アドレス、ハードディスクの使用率、時刻) を表示しています。

クリックすると TeraStation からビープ音が鳴ります。

メモ　増設した Windows 搭載パソコンで設定画面を表示するときは

P41 の手順 2 でメモをした IP アドレスをお使いのブラウザのアドレス欄に入力して <Enter> キーを押してください。以降は P41 の手順 3 以降に従ってください。

詳細設定の項目

TeraStation の設定画面より、次の項目を設定できます。

メモ　各項目の内容については、設定画面 [HELP] をお読みください。

●ゲストログイン時の設定項目

ユーザ名 guest、パスワード無しでログイン

TOP	TeraStation 名、IP アドレス、現在の時刻、HDD 状態を確認できます。

●ユーザログイン時の設定項目

設定画面で登録したユーザ名、パスワードでログイン

TOP	TeraStation 名、IP アドレス、現在の時刻、HDD 状態を確認できます。
ユーザ管理	ユーザの追加や設定、ユーザごとのパスワードを設定することができます。

次のページへ続く

●管理者ログイン時の設定項目

ユーザ名 admin、管理者用パスワードでログイン

TOP	TeraStation 名、IP アドレス、 現在の時刻、HDD 状態を確認できます。
基本	TeraStation 名称 / 説明、時刻、年月日、NTP、表示言語を設定できます。
ネットワーク	IP アドレス、イーサネットフレームサイズ、ワークグループ・ドメイン、認証サーバを設定できます。
ディスク管理	RAID アレイ・USB ディスク設定、ディスクチェック、フォーマットができます。
共有フォルダ管理	共有フォルダの追加や設定、アクセス制限、共有サービス (AppleTalk 機能 /FTP 機能) を設定することができます。
グループ管理	グループの追加や設定、グループに参加するユーザを指定することができます。
ユーザ管理	ユーザの追加や設定、ユーザごとのパスワードを設定することができます。
バックアップ	バックアップタスクを設定することができます。
メンテナンス	メール通知設定、UPS 連動機能設定、警告音設定、表示パネル設定、シャットダウン、本体初期化スイッチ設定をすることができます。
システム状態	システム情報、USB 情報、RAID アレイ情報、ディスク情報、USB ディスク情報、、ネットワーク情報、ユーザアクセス状態、システムログを確認することができます。

メモ 設定画面での入力文字数には、以下の制限があります。

TeraStation の名称 (※ 3)	半角英数 12 文字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)
TeraStation の説明	半角英数 50 文字（全角 25 文字)、-(ハイフン)、_(アンダーバー)、半角スペース
ワークグループ名 (※ 1)	半角英数 15 文字（全角 7 文字)、-(ハイフン)、_(アンダーバー)、.(ドット)
ドメイン名 (※ 1)	半角英数 15 文字（全角 7 文字)、-(ハイフン)、_(アンダーバー)、.(ドット)
ドメインコントローラ名 (※ 1)	半角英数 12 文字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)
共有フォルダ名 (※ 1)	半角英数 12 文字（全角 6 文字)、-(ハイフン)、_(アンダーバー)
共有フォルダの説明 (※ 1)	半角英数 50 文字（全角 25 文字)、-(ハイフン)、_(アンダーバー)、半角スペース
グループ名 (※ 2)	半角英数 12 文字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)、.(ドット)
グループの説明 (※ 2)	半角英数 50 文字（全角 25 文字)、-(ハイフン)、_(アンダーバー)、半角スペース
ユーザ名 (※ 3)	半角英数 20 文字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)、.(ドット)
ユーザの説明 (※ 1)	半角英数 50 文字（全角 25 文字)、-(ハイフン)、_(アンダーバー)、半角スペース
ユーザ (管理者含む) パスワード (※ 2)(※ 4)	半角英数 20 文字、-(ハイフン)、_(アンダーバー)

※ 1 先頭文字に数字や記号を使用することはできません。

※ 2 先頭文字に記号 (アンダーバー除く) を使用することはできません。

※ 3 先頭文字に記号を使用することはできません。

※ 4 TeraStation に登録するユーザのユーザパスワードは、Windows 98SE/98/95 をお使いの方は半角英数 15 文字以上にしないでください。MacOS をお使いの方は半角英数 9 文字以上にしないでください。TeraStation の共有フォルダにアクセスできなくなります。

設定の手順例

設定の手順の例を説明します。

TeraStation の名称 (ホスト名)・時刻の設定

1 P41の手順で設定画面を表示します。

2 [基本] をクリックします。

3

TeraStation 名称、時刻を入力します。

メモ **[設定中の PC から現在の時刻を取得] をクリックすると、入力欄にパソコンの時刻が入力されます。**

※ NTP サーバを指定すれば、自動的に時刻を修正することもできます。

各項目の内容については、設定画面 [HELP] をお読みください。

[設定] をクリックします。

以上で TeraStation の名称、時刻の設定は完了です。

共有フォルダの作成

1 P41の手順で設定画面を表示します。

2 [共有フォルダ管理]-[共有フォルダ設定] をクリックします。

3 [共有フォルダの追加] をクリックします。

4

共有フォルダの追加

共有フォルダ名	
共有フォルダの説明	
ディスク領域	RAIDアレイ1
公開先	☑ Windows ☑ Macintosh ☐ FTP ☐ バックアップ
共有フォルダ属性	○ 読取専用 ◉ 書込可能
ゴミ箱機能	◉ 使用する ○ 使用しない
バックアップ公開用パスワード	

共有フォルダ名、公開先などを設定します。

各項目の内容については、設定画面 [HELP] をお読みください。

アクセス制限

アクセス制限機能	○ 使用する ◉ 使用しない		
	読取/書込可能	読取専用	全グループ/ユーザ
グループ			hdusers
ユーザ			admin guest

設定　キャンセル

[設定] をクリックします。

以上で新しい共有フォルダの作成は完了です。

共有フォルダのデータを誤って消去しないために (ゴミ箱機能の使用)

上記設定画面で共有フォルダごとにゴミ箱機能の設定ができます (AppleTalk 接続および FTP 接続時は使用できません)。OS のゴミ箱と同じように、共有フォルダ内の削除されたデータは一時的にゴミ箱 [trashbox] フォルダに移動されます。削除したデータを元に戻したいときは、[trashbox] フォルダを開いてファイルを移動させてください。

共有フォルダを読み取り専用にしたいときは

共有フォルダ設定画面で共有フォルダの属性 [読取専用] を選択し [設定] をクリックすると、共有フォルダは読み取り専用になります。

※初期設定は [書込許可] に設定されています。

※読み取り専用属性に設定した共有フォルダは、アクセス制限で書き込み可能になっているユーザ、グループでもデータを書き込むことはできません (読み取り専用となります)。

※読み取り専用属性に設定した共有フォルダや、FAT/NTFS 形式の USB ハードディスクは、共有フォルダの説明に「(Read Only)」が追加されます。

ユーザの追加

1 P41の手順で設定画面を表示します。

2 [ユーザ管理] をクリックします。

3 [ユーザの追加] をクリックします。

4

以上でユーザの追加は完了です。

⚠注意 Windows のログイン時のユーザ名、パスワードと同じユーザ名、パスワードにしてください。異なる場合、アクセス制限を設定した共有フォルダにアクセスできません。

また、Windows Vista/XP/2000 では、ネットワークログイン名が異なっていた場合、ユーザ名とパスワードを入力する画面が表示されますが、入力しても共有フォルダにアクセスはできません。必ずこちらで設定したユーザ名、パスワードで Windows のネットワークにログインしてください。

グループの追加

1 P41の手順で設定画面を表示します。

2 [グループ管理] をクリックします。

3 [グループの追加] をクリックします。

4

以上でグループの追加は完了です。

アクセス制限の設定

TeraStation は、共有フォルダごとにアクセスできるユーザやグループを設定できます。大切なデータを公開したくないときなどに設定ください。

⚠注意　**Windows Vista をお使いの場合、アクセス制限を設定するには、Windows Vista のセキュリティを変更する必要があります。【P60】**

1　**P41の手順で設定画面を表示します。**

2　**[共有フォルダ管理]-[共有フォルダ設定] をクリックします。**

以上でアクセス制限の設定は完了です。

メモ
- **Microsoft ネットワークドメインでログオンしたときは、ドメインに登録されたユーザ名でアクセス制限を設定することができます。ただし、「読取専用」に設定することはできません。**
- **特定のユーザに読取専用と書込可能が重複した場合は、読取専用となります。**

TeraStation のハードディスクをチェックする

⚠注意
- TeraStation および USB コネクタに増設したハードディスク内のデータをチェックします。異常があったときには自動的に修復します。チェックには数十分間〜数十時間かかります。
- チェック中は TeraStation の共有フォルダを利用できません。
- チェック中は TeraStation の電源スイッチを絶対に OFF にしないでください。

1 P41の手順で設定画面を表示します。

2 [ディスク管理]-[ディスクチェック] をクリックします。

3

メモ Mac OS から接続中に、停電など正常な手段で接続が解除できなかった場合、Mac OS が作成するデータベース等が破損し、接続できなくなることがあります。このようなときは、[Mac OS の固有情報を削除] を選択し、ディスクチェックを実行してください。

4 画面に表示された警告・注意をよく読み、[チェックを開始] をクリックします。以降は画面の指示にしたがって操作します。

チェック中は、TeraStation 前面の液晶ディスプレイに「Checking」と表示されます (USB コネクタに増設したハードディスクを除く)。チェックが終わるまで TeraStation の共有フォルダはアクセスできません。

以上でハードディスクのチェックは完了です。

TeraStation のハードディスクをフォーマットする

⚠注意
・TeraStation および USB コネクタに増設したハードディスクのデータ、共有フォルダに関する設定が全て消去されます。誤って実行しないようご注意ください。フォーマットには数分かかります。
・フォーマット中は TeraStation の共有フォルダを利用できません。
・フォーマット中は TeraStation の電源スイッチを絶対に OFF にしないでください。

1 P41 の手順で設定画面を表示します。

2 [ディスク管理]-[フォーマット] をクリックします。

3

4 画面に表示された警告・注意をよく読み、[フォーマットを開始] をクリックします。

5 [通信の確認] 画面が表示されます。

60 秒以内に確認番号欄に表示されている数字を正確に入力し、[設定] をクリックします。

6 以降は画面の指示にしたがって操作します。

次のページへ続く

フォーマット中は、TeraStation 前面の液晶ディスプレイに「Formatting」と表示されます。フォーマットが終わるまで TeraStation の共有フォルダはアクセスできません。

USB コネクタに増設したハードディスクをフォーマットした場合、パーティションを作成しなおします。

メモ フォーマットの所要時間はハードディスクの容量によって異なります (数秒～数十秒)。

以上でハードディスクのフォーマットは完了です。

⚠注意 ハードディスク内のデータが完全に削除されていないために起こるデータの漏洩が心配な場合は、[メンテナンス]-[初期化]-[全ディスクの完全フォーマットを実行] をクリックしてください。完全フォーマットについては P65 をご参照ください。

メール通知機能を使用する

TeraStation の設定を変更したときや異常が発生したとき、指定のメールアドレスにメッセージを送信するよう設定することができます。

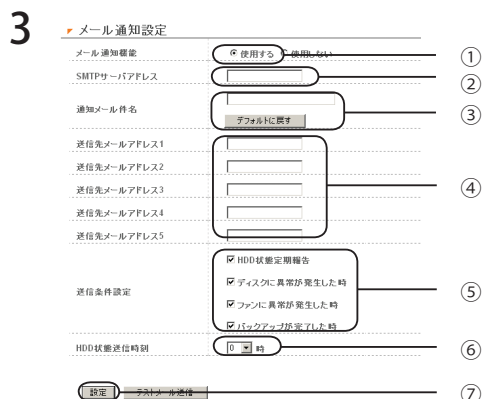
メモ メール送信される内容は次のとおりです。

- 指定した時刻にハードディスクの状態を送信
- RAID 構成変更時のお知らせ
- ファンの異常発生時の連絡
- ハードディスク交換警告
- バックアップ完了のお知らせ
- RAID(ディスクエラー) 発生時の連絡
- ハードディスクリードエラー

1 P41 の手順で設定画面を表示します。

P41 の手順で

2 [メンテナンス]-[メール通知設定] をクリックします。

3

① [使用する] をクリックします。

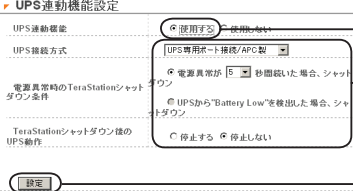
② SMTP サーバアドレスを入力します。

③ 通知メールの件名を入力します。[デフォルトに戻す] をクリックすると件名は「TeraStation Status Report」となります。
注意 半角英数字にしてください。それ以外では文字化けすることがあります。

④ 送信先メールアドレスを入力します。最大 5 つのアドレスまで送信できます。
注意 誤ったメールアドレスを入力しないようご注意ください。

⑤ 送信する時刻を設定します。

⑥ 送信条件設定を選択します。

HDD 状態定期報告 .... ハードディスク状態を定期的に送信します。
ディスクに異常が発生した時 .... ディスクに異常が発生したときに送信します。
ファンに異常が発生した時 .... ファンに異常が発生したときに送信します。
バックアップが完了した時 .... バックアップが完了したときに送信します。

⑦ [設定] をクリックします。

以上でメール通知機能の設定は完了です。

UPS(無停電電源装置) と併用する

別途UPSを用意することで、停電時にTeraStationを自動でシャットダウンしデータを保護できます。UPS と併用するときは、必ず以下の設定をおこなってください。

1 UPS の電源ケーブルをコンセントに接続します。

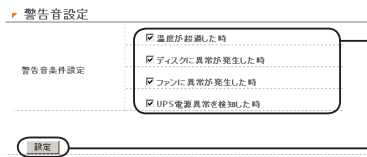
2 UPS と TeraStation を AC ケーブルで接続します。

3 UPS を TeraStation 背面の UPS コネクタまたは USB コネクタ (P6) に接続します。

4 UPS → TeraStation の順に電源を ON にします。

5 P41 の手順で設定画面を表示します。

6 [メンテナンス]-[UPS 連動機能設定] をクリックします。

7

以上で UPS の設定は完了です。

⚠注意　停電など電源異常発生によりTeraStationが自動シャットダウンした後にTeraStationの電源をONにするときは、必ず電源異常が復旧したことを確認してから行ってください。復旧せずにUPSのバッテリで動作している状態のままTeraStationの電源をONにすると、指定時間経過しても自動シャットダウンしません。

警告音を設定する

TeraStation に異常があった際に警告音を鳴らすこともできます。

1 **P41 の手順で設定画面を表示します。**

2 **[メンテナンス]-[警告音設定] をクリックします。**

3

①警告音を鳴らす事項を温度超過、ディスク異常、ファン異常、UPS 停電検知から選択します。

② [設定] をクリックします。

以上で警告音の設定は完了です。

表示パネルを設定する

TeraStation に前面の液晶ディスプレイ、ランプの表示について設定します。

1 **P41 の手順で設定画面を表示します。**

2 **[メンテナンス]-[表示パネル設定] をクリックします。**

3

① LCD 表示項目、LCD バックライト、LED 輝度を設定します。

各項目の内容については、設定画面 [HELP] をお読みください。

② [設定] をクリックします。

以上で表示パネルの設定は完了です。

TeraStation の管理者パスワードを変更する

1 P41の手順で設定画面を表示します。

2 [ユーザ管理] をクリックします。

3

以上で管理者パスワードの設定は完了です。

バックアップ

パソコンのデータをバックアップする (Windows Vista/XP/2000/Me/98SE/98)

パソコンのデータを TeraStation にバックアップするときは、付属の「簡単バックアップ」を使います。簡単バックアップは、付属のユーティリティ CD(TeraNavigator) からインストールすることができます。

使いかたについてはインストール後に、[(すべての) プログラム]-[BUFFALO]-[簡単バックアップ]-[簡単バックアップ マニュアル] をご参照ください。

TeraStation のデータをバックアップする

TeraStation の設定画面で、TeraStation の共有フォルダ単位でバックアップを行うことができます。バックアップ先には、次の 3 つのいずれかを選ぶことができます。

・他の TeraStation　(P55、56、57 の手順にしたがって設定してください)

・同じ TeraStation の別フォルダ　(P55、57 の手順にしたがって設定してください)

・TeraStation に接続した USB ハードディスク　(P57 の手順にしたがって設定してください)

●バックアップ先を設定する

バックアップを行う前に、バックアップ先のフォルダを設定する必要があります。

1 P41 の手順で設定画面を表示します。

2 [共有フォルダ管理]-[共有フォルダ設定] をクリックします。

3

バックアップ先にしたい共有フォルダをクリックします。

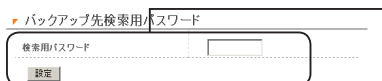
4

① [バックアップ] をクリックしチェックマークを表示させます。

※ ネットワーク経由で他の TeraStation からのバックアップ先にするときは、パスワードを設定することもできます。パスワードを設定したくないときは何も入力しないでください。

② [設定] をクリックします。

次のページへ続く

●他の TeraStation をバックアップ先にするときの設定

バックアップ公開用 (検索用) パスワードを設定している場合

バックアップ先の共有フォルダにパスワードを設定している場合、パスワードを入力しないとバックアップ先として選択することはできません。バックアップを行う前に次の手順でパスードを入力してください。

1 **[バックアップ]-[バックアップ設定] をクリックします。**

※ネットワーク上の TeraStation を検索するため、画面の表示には 10 秒程度必要です。

2

バックアップ先検索用パスワード

検索用パスワード

設定

バックアップ先 TeraStation 共有フォルダに設定したバックアップ公開用パスワードを入力します。

検索時に見つかるバックアップ先フォルダは、パスワードが未設定のフォルダと、認証パスワードが一致したフォルダです。

ルータを越えた TeraStation や VPN で接続されたネットワークの TeraStation にバックアップしたい場合

ルータを越えた TeraStation や VPN で接続されたネットワークの TeraStation にバックアップするときは、バックアップを行う前に次の手順で TeraStation の IP アドレスを入力してください。

1 **[バックアップ]-[検索対象アドレス] をクリックします。**

※ネットワーク上の TeraStation を検索するため、画面の表示には 10 秒程度必要です。

2

TeraStation手動検索対象

検索対象IPアドレス

検索対象の追加

バックアップ先の TeraStation の IP アドレスを入力し、[検索対象の追加] をクリックします。

メモ [バックアップ]-[TeraStation 一覧] では、ネットワークにある TeraStation の一覧が表示されます。

以下の条件の方は上記の設定は必要ありません。P57 の手順でバックアップを行ってください。

- バックアップ先に他の TeraStation を使用しない
- バックアップ先の TeraStation に検索バックアップ公開用パスワードを設定していない
- バックアップ先にルータを越えた TeraStation や VPN で接続されたネットワークの TerаStation を使用しない

注意 ・TeraStation のデータを他の TeraStation にバックアップするときは、2 つの TeraStation のイーサネットフレームサイズを同じ値に設定してください。【P63】 イーサネットフレームサイズが異なる場合、正常にバックアップできないことがあります。

次のページへ続く

●バックアップを設定する

1 ［バックアップ］–［バックアップ設定］をクリックします。

メモ ネットワーク上の TeraStation を検索するため、画面の表示には 10 秒程度必要です。

2

バックアップ設定

タスク番号	スケジュール	状態
タスク1		登録されていません
タスク2		登録されていません
タスク3		登録されていません
タスク4		登録されていません
タスク5		登録されていません
タスク6		登録されていません
タスク7		登録されていません
タスク8		登録されていません

設定するタスクをクリックします。

メモ バックアップの設定は最大 8 個まで設定できます。ここでは個々の設定をタスクと案内しています。

3

バックアップ元とバックアップ先フォルダを選択し、［バックアップ対象の追加］をクリックします。

注意
- バックアップ元フォルダには第二階層のフォルダまで登録できます。ただし、共有フォルダ名を含め、80 文字以上のフォルダは選択できません。
- バックアップ先デバイスあらかじめ P55 の手順でバックアップ先として設定していないと選択することはできません。
- TeraStation の USB コネクタに接続したハードディスクが FAT32/16 形式でフォーマットされている場合、次の制限があります。P38 の手順で XFS 形式または EXT3 形式でフォーマットすることをおすすめします。

  共有フォルダとして割り当ててデータを書き込むことはできません。TeraStation のバックアップ先としてお使いください。

  1 ファイル 2GB 以上のデータはバックアップできません (エラーが発生し、バックアップが途中で停止することがあります)。

  MacOS X で自動作成されたファイル (.DS_Store など）がある場合は、ファイル名に FAT16/32 形式では使用できない文字が含まれているためバックアップできません（エラーが発生し、バックアップが途中で停止することがあります）。

4

バックアップ設定項目 (実行日、実行時刻など) を選択し、［設定］をクリックします。　各項目の内容、バックアップ先のフォルダの名前、場所については、設定画面 [HELP] をお読みください。

FTP サーバ機能を使うとき

TeraStation を FTP サーバとして使用したいときは、次の手順で行います。

メモ FTP サーバ機能は、既に FTP クライアントソフトウェアを持っていて、FTP サーバを利用したことがある方を対象にしています。通常は FTP サーバ機能を使用する必要はありません。

1 P41 の手順で設定画面を表示します。

2 [共有フォルダ管理]-[共有サービス設定] をクリックします。

3

共有サービス設定

AppleTalk機能	◉ 使用する ○ 使用しない
FTP機能	◉ 使用する ○ 使用しない

設定

① [使用する] をクリックします。

② [設定] をクリックします。

4 [共有フォルダ管理]-[共有フォルダ設定] をクリックします。

5

共有フォルダ設定

☐	共有フォルダ名	ディスク領域	共有フォルダの説明
☐	share	RAIDアレイ1	

公開する共有フォルダをクリックします。

6

共有フォルダの編集

共有フォルダ名	share
共有フォルダの説明	
ディスク領域	RAIDアレイ1
公開先	☑ Windows ☑ Macintosh ☑ FTP ☑ バックアップ
共有フォルダ属性	○ 読取専用 ◉ 書込可能
ゴミ箱機能	◉ 使用する ○ 使用しない
バックアップ公開用パスワード	

① [FTP] をクリックします。

②読取専用にするかどうか選択します。

設定 キャンセル

③ [設定] をクリックします。

以上で FTP サーバ機能の設定は完了です。

次のページへ続く

FTP クライアントソフトウェアで TeraStation にアクセスするには

別途 FTP クライアントソフトウェアを用意し、以下の項目を設定してください .

・ホスト名　TeraStation の IP アドレス (P41)
・ユーザ名　TeraStation に登録しているユーザ名 (P46)
・パスワード　TeraStation に登録しているパスワード (P46)
・ポート　21

例　ftp://192.168.11.150/

※FTP クライアントソフトウェアの使い方についてはソフトウェアのヘルプを参照ください。

※ TeraStation の設定で共有フォルダ、USB ハードディスクが読取専用になっていた場合、FTP でも書き込むことはできません。

※ TeraStation の共有フォルダ、USB ハードディスクにアクセス制限が設定されている場合、設定に従いアクセスが制限されます (アクセス権がないユーザからは表示されません)。

※ドメインネットワークに参加している場合、ドメインユーザアカウントを使用して TeraStation に FTP 接続することはできません。

※インターネットに FTP サーバを公開したいときは、ルータに付属のマニュアルをよく読みファイアウォールおよびセキュリティ設定を必ずしてください。

※FTP で接続したとき共有フォルダは以下のように見えます。

スパニング・RAID5・RAID1 構成時

```
/┬ array1─share
 ├usbdisk1
 ├usbdisk2
 └info
```

RAID1(アレイ 2 個) 構成時

```
/┬ array1─ share
 ├array2─共有フォルダ
 ├usbdisk1
 ├usbdisk2
 └info
```

通常モード構成時

```
/┬ disk1─share
 ├disk2─共有フォルダ
 ├disk3─共有フォルダ
 ├disk4─共有フォルダ
 ├usbdisk1
 ├usbdisk2
 └info
```

・RAID アレイ 1 は array1、RAID アレイ 2 は array2、TeraStation 内蔵ハードディスクは disk1 ～ 4、USB ハードディスクは usbdisk1 ～ 2 と表示されます。

・usbdisk1 ～ 2 は、USB ハードディスクを接続していないときや、アクセス制限を設定しているときは表示されません。

匿名 (ユーザ名 ANONYMOUS) で TeraStation にアクセスするには

TeraStation 設定画面共有フォルダ管理で共有サービス設定 [FTP 機能使用する]、共有フォルダ公開先 [FTP]、アクセス制限機能 [使用しない] が選択されていれば、匿名 (ユーザ名 ANONYMOUS) でもアクセスできます。

別途 FTP クライアントソフトウェアを用意し、以下の項目を設定してください .

・ホスト名　TeraStation の IP アドレス (P41)
・ユーザ名　anonymous
・パスワード　お客様の電子メールアドレス
・ポート　21

例　ftp://192.168.11.150/

※ FTP クライアントソフトウェアの使い方についてはソフトウェアのヘルプを参照ください。

※インターネットに FTP サーバを公開したいときは、ルータに付属のマニュアルをよく読みファイアウォールおよびセキュリティ設定を必ずしてください。

アクセス制限をかけるには

TeraStation を使用するユーザを制限する方法には、次の 3 つがあります。

●ローカル登録ユーザに関してアクセス制限　(P47 の手順にしたがって設定してください)

● NT ドメインログオン機能を利用してユーザーリストを取得してアクセス制限
(P60 の手順にしたがって設定してください)NT ドメイン環境をお使いの場合の手順です。

●認証サーバ連携機能を利用してアクセス制限　(P61 の手順にしたがって設定してください)
Windows 2000 Server/Server 2003 の Native で Active Directory をお使いの場合の手順です。

⚠注意　Windows Vista をお使いの方へ

アクセス制限を設定するときは、Windows Vista のセキュリティを変更する必要があります。

[スタート]-[BUFFALO]-[ファイル共有セキュリティレベル変更ツール]-[ファイル共有セキュリティレベル変更ツール] で「ファイル共有のセキュリティレベルを変更する」を選択すると変更することができます (元に戻すときは、「元に戻す」を選択します)。

※「ファイル共有セキュリティレベル変更ツール」は、付属の CD で Windows Vista にのみインストールされます。
※初期セットアップ中、「セキュリティレベルを変更します。よろしいですか？」と表示されます。[はい] をクリックしたときは、画面の指示にしたがってパソコンを再起動してください。

ドメインログオン機能を使用するとき

TeraStation をドメインでネットワークに参加させるときは、次の手順で行います。

メモ　ここで説明する手順は、ネットワーク管理者を対象にしています。設定を行うには、Microsoft ネットワークドメインについて、ある程度精通している必要があります。

1 ドメインコントローラ上で TeraStation のコンピュータアカウントを作成します。

※「Windows 2000 以前のコンピュータにこのアカウントを許可」のチェックボックスがある場合は、チェックを入れてください。

2 TeraStation 設定画面で [ネットワーク]-[ワークグループ設定] をクリックします。

3

次のページへ続く

⚠注意
- TeraStation の名称【P44】を変更すると、ドメインでネットワークに参加できなくなります。その場合は、上記の手順を再度行ってください。
- セキュリティ設定によっては、ドメインで参加できない、参加できても認証できないことがあります。このようなときは認証サーバ連携【P61】での管理を行うことをおすすめします。

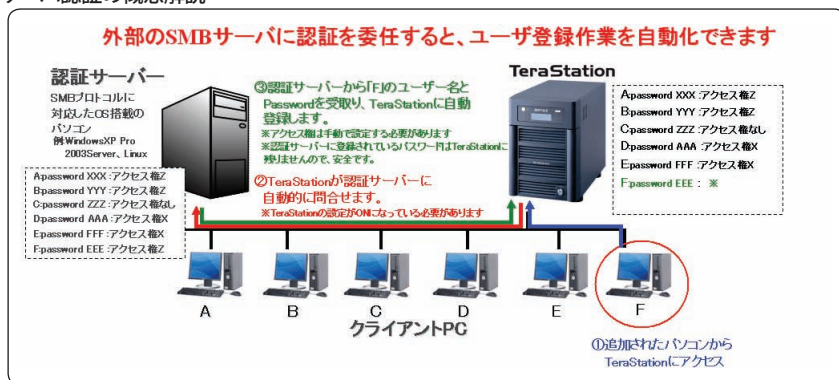
メモ
- ドメインでネットワークに参加しているときは、ユーザ管理画面に [ドメインユーザ一覧] が追加表示されます。
- 取得したドメインユーザで共有フォルダのアクセス制限をすることができます。

以上で設定は完了です。

認証サーバ連携で管理するとき

TeraStation にアクセスするユーザのアカウントとパスワードを認証サーバと連携して一括管理してアクセス許可をしたいときは、次の手順で行います。

メモ ここで説明する手順は、ネットワーク管理者を対象にしています。設定を行うには、Micorosoft ネットワークについて、ある程度精通している必要があります。詳しくはネットワーク管理者にご確認ください。

サーバ認証の概念解説

1 P41の手順で設定画面を表示します。

2 TeraStation 設定画面で [ネットワーク]-[ワークグループ設定] をクリックします。

次のページへ続く

3

ワークグループ・ドメイン設定

ネットワーク参加方法　○ワークグループ　◉ドメイン

ワークグループ名　09MR

ドメイン名　09MR

ドメインコントローラ名

WINSサーバアドレス

① [ワークグループ] を選択します。

メモ **ドメイン環境で使用する場合でも、[ワークグループ] を選択します。**

② ワークグループ名を入力します。

メモ **Windows ドメインコントローラを外部 SMB 認証サーバとして指定する場合は、本製品のワークグループ名を Windows ドメインコントローラのドメイン名と一致させる必要があります。**

4

① [外部の SMB サーバに認証を委任する] を選択します。

② チェックボックスをクリックしてチェックマークを表示させます。

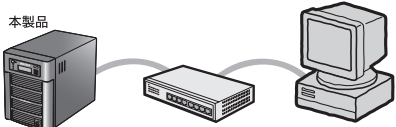
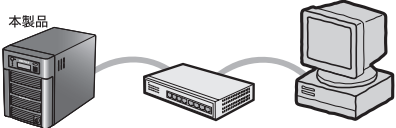
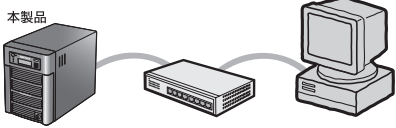
③ 認証サーバ名、またはIPアドレスを入力します。

※ AppleTalk 接続や FTP 接続時は IP アドレスで指定してください。サーバ名では認証できなことがあります。

④ 認証テスト用の共有フォルダ名を入力します。

⑤ ［設定］をクリックします。

5 TeraStation に認証テスト用共有フォルダが作成されています。

指定した認証サーバに登録されたユーザが、認証用共有フォルダを開くと自動的に TeraStation のユーザとして登録されます (直接ユーザ登録することもできます)。

メモ

- **自動登録されたユーザは「hdusers」グループに所属します。グループを変更することはできません。**
- **取得したユーザ名で共有フォルダのアクセス制限をすることができます。**
- **登録されたユーザ名は、[ユーザ管理]-[外部認証ユーザ一覧] に一覧表示されています。ユーザを選択し、[外部認証ユーザの削除] をクリックすると、自動登録されたユーザを削除することができます。**
- **AppleTalk 接続や FTP 接続時は IP アドレスで指定してください。サーバ名では認証できなことがあります。**
- **別セグメント (ルータ越えのネットワークなど) のサーバを指定する際は IP アドレスを入力してください。**
- **AppleTalk 接続、FTP 接続では、認証サーバ連携でユーザ情報を取得することはできません。**
- **設定を認証サーバ連携機能に変更すると、ローカルで登録したユーザもすべて外部認証ユーザに変更されます。**

以上で認証サーバ連携の設定は完了です。

Jumbo Frame で転送するとき

転送の効率を向上させたいときは、TeraStation 設定画面で [ネットワーク]-[IP アドレス設定] のイーサネットフレームサイズ (1 回で転送できるデータの最大サイズ) を Jumbo Frame(4100bytes/7418bytes) に変更してください。

⚠注意 ・Jumbo Frame(4100bytes/7418bytes) を使用して、TeraStation にハブを接続する場合、Jumbo Frame 非対応のスイッチングハブは使用しないでください。使用するとデータの転送ができなくなります。

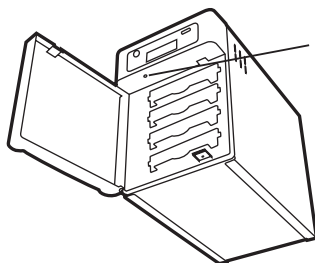
・Jumbo Frame(4100bytes/7418bytes) を使用するには、パソコン (LAN アダプタ) および通信経路上の機器 (スイッチングハブなど) が Jumbo Frame に対応している必要があります。非対応の機器があったときは、通常 (1518bytes) の転送が行われます。

接続機器			対応	
本製品 Jumbo Frame 4100/7418設定	Jumbo Frame 対応スイッチングハブ	Jumbo Frame 対応パソコン	○	Jumbo Frame (4100/7418)で転送が行われます。
本製品 Jumbo Frame 4100/7418設定	Jumbo Frame 対応スイッチングハブ	Jumbo Frame **非対応**パソコン	△	通常(1518)で転送が行われます。
本製品 Jumbo Frame 4100/7418設定	Jumbo Frame **非対応**スイッチングハブ	Jumbo Frame **非対応**パソコン	△	通常(1518)で転送が行われます。
本製品 Jumbo Frame 4100/7418設定	Jumbo Frame **非対応**スイッチングハブ	Jumbo Frame 対応パソコン	×	転送することはできません。ご注意ください。

設定の初期化手順

TeraStation の初期化スイッチ

TeraStation の設定を出荷時に戻したいときは、TeraStation 動作時 (電源ランプ点灯) に付属の鍵で前面カバーをあけ、背面の初期化スイッチを押してください。

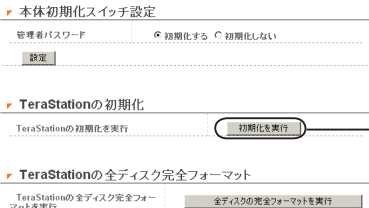
● 前面カバーをあけ下から見た図

初期化スイッチ

ピッと音がするまで (約 5 秒間) 押し続けると、本製品の設定内容が出荷時設定に変更されます。

メモ
・初期化スイッチでは、IP アドレス、イーサネットフレームサイズ設定、管理者 (admin) パスワードが初期化されます。TeraStation 設定画面で管理者パスワードを初期化しない設定を行うと、IP アドレスとイーサネットフレームサイズ設定のみ初期化されます。他項目の初期化は TeraStation 設定画面で初期化します。【P65】

・TeraStation の初期化スイッチを押しても管理者 (admin) パスワードを初期化させたくないときは、下記 [メンテナンス]-[初期化] 画面で、初期化スイッチ設定 (管理者パスワード) を [初期化しない] を選択し、[設定] をクリックしてください。

初期化スイッチで管理者 (admin) パスワード初期化しないよう設定した場合、パスワードを忘れると TeraStation の設定ができなくなります。必ず書き留めて忘れないようにしてください。

注意
初期化スイッチを押して再セットアップ (TeraNavigator を実行) をするときは、セットアップモードの選択画面で、必ず [再セットアップ] を選択してください。[初回セットアップ] を選択するとデータが全て消去されます。

設定画面で行う初期化

TeraStation の設定画面では、初期化スイッチで行なう初期化項目に加え、次の項目も初期化することができます。

初期化される内容：
TeraStation 名、説明、NTP 設定、ワークグループ設定、共有サービス設定、共有フォルダのアクセス制限、ユーザ設定、ユーザグループ、メール通知機能設定、UPS 連動機能設定、バックアップ設定、管理者パスワード

1 P41の手順で設定画面を表示します。

2 [メンテナンス]-[初期化] をクリックします。

3

4 [通信の確認] 画面が表示されます。

60 秒以内に確認番号欄に表示されている数字を正確に入力し、[設定] をクリックします。

5 以降は画面の指示にしたがって操作します。

メモ [全ディスクの完全フォーマットを実行]をクリックすると、TeraStation内全ハードディスクのデータを完全に削除します (完全フォーマット終了後、自動的に TeraStation はシャットダウンします)。データが完全に削除されていないために起こるデータの漏洩が心配なときにお使いください。また、完全フォーマットを行うと TeraStation は次の状態になります。

TeraStation 内ハードディスク 4 台：未フォーマット
RAID アレイ：なし
TeraStation の全設定：出荷時状態
ログ：全消去

5 付録

出荷時設定

TeraStation は出荷時に以下のように初期設定されています。

●管理者名：admin(変更不可)

●共有フォルダ：share(Windows ＆ Macintosh 共用)
※共有フォルダのゴミ箱機能は「未使用」に設定されています。

●DHCP クライアント
DHCP サーバがネットワーク内にある場合は自動取得します。
DHCP サーバがネットワーク内に無い場合は、次のように自動設定されます。
IP アドレス：192.168.11.150
ネットマスク：255.255.255.0

●登録グループ
初期設定にて既に TeraStation には、デフォルトグループ (hdusers、admin、guest) が登録されています。編集、削除はできません。

●Microsoft ネットワークワークグループ設定
WORKGROUP
※ TeraNavigator を実行すると、設定を行うパソコンのワークグループと同じワークグループになります。

●AppleShare ネットワークゾーン設定：　なし (空白)

●イーサネットフレームサイズ：　1518bytes

●AppleTalk 機能：使用する

●FTP サーバ機能：　使用しない

●時刻
2005 年 12 月 1 日
※ TeraNavigator を実行すると、設定を行うパソコンの時刻に更新されます。

●NTP 機能：　使用しない

●RAID モード：　RAID5 モード

メモ 出荷時設定に戻すときは、P64「設定の初期化手順」を参照ください。

ハードディスクが故障する前に

RAID エラーが発生したとき、データ保護のため自動的にシャットダウンするよう次の手順で設定することができます (RAID1/RAID5 モード時のみ。スパニング / 通常モードでは機能しません)。

1 **P41の手順で設定画面を表示します。**

2 **[ディスク管理]-[RAID 設定] をクリックします。**

3

① [RAID アレイ障害発生時にシャットダウンを行う] の項目で [行う] を選択します。

② [設定] をクリックします。

以上で設定は完了です。

⚠注意 **ディスクの不良セクタが多くエラーを修復できないとき、RAID1、5 ではデグレード状態 (P88) となります。TeraStation はデグレード状態になるとシャットダウンします。**

再度、電源スイッチを押すことで、TeraStation を起動することもできますが、障害が修復不可能で危険な状態ですので、すみやかにハードディスクを交換することをおすすめします。

ハードディスクが故障したら

● RAID1 モードまたは RAID5 モードでお使いのとき

データ保護のため、上記手順を参照して RAID アレイ障害発生時に自動的にシャットダウンするよう設定することをおすすめします。
故障したハードディスクの FAIL ランプが赤色点灯していますので、TeraStation の電源を OFF にし、P68 の手順にしたがってハードディスクを交換してください。

●通常モードでお使いのとき

通常モード時は、RAID アレイ障害発生時にシャットダウンするよう設定できません (データは保護されません。また故障したハードディスク内のデータは復旧できません)。故障したハードディスクの FAIL ランプが赤色点灯していますので、TeraStation の電源を OFF にし、P68 の手順にしたがってハードディスクを交換してください。

●スパニングモードでお使いのとき

スパニングモードで故障した時は、RAID アレイ内の全てのデータを失います。ハードディスクを交換してもデータを修復することはできません。故障したハードディスクの FAIL ランプが赤色点灯していますので、TeraStation の電源を OFF にし、P68 の手順にしたがってハードディスクを交換してください。

ハードディスクの交換方法

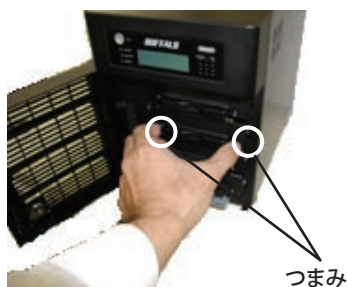
TeraStation 前面の DISK1 ～ 4 の FAIL ランプが赤色に点灯していた場合、点灯している DISK 番号のハードディスクドライブが故障しています。このようなとき、別途同容量のハードディスクを用意し、故障したハードディスクと交換することができます。ハードディスクの交換は以下の手順で行ってください。
以下の説明は取り外す場合の手順です。ハードディスクの交換後、元どおりに組み立てるときは、取り外したときの逆の手順で行なってください。また、取り付け時に注意すべきポイントがある場合は、各手順の中で＜取り付ける場合＞として説明してありますので、必ずご参照ください。

⚠注意
- TeraStation は精密な機器です。落としたり衝撃を与えないよう慎重に作業を行なってください。
- TeraStation は約 8kg の重量があります。落としてけがすることがないよう慎重に作業を行なってください。
- TeraStation 内部の金属部分で手をけがしないよう慎重に作業を行なってください。
- ハードディスクを交換する場合は、本書で指示されていない部分は絶対に分解しないでください。TeraStation の分解によって生じた故障や破損は、弊社の保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。
- 静電気による破損を防ぐため、身近な金属 (ドアノブやアルミサッシなど) に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
- 製品内の 4 台全ての HDD を同時交換した場合は、動作いたしません。
- 同容量の交換専用ハードディスク以外の動作は保証できません。

1 ケーブル類をすべて取り外し、付属の鍵で前面カバーを開きます。

パソコン→周辺機器の順に電源を OFF にして、ケーブル類をすべて取り外します。

2 FAIL ランプが点灯した故障した番号のハードディスクカートリッジのつまみを親指と人差し指でつまみ、上方向へ引き上げます。

＜取り付ける場合＞
つまみがカチンと音がするまでハードディスクカートリッジを差し込みます。

次のページへ続く

3 カートリッジごとハードディスクを手前に引き出します。

> ＜取り付ける場合＞
> ケーブルを TeraStation 内部のスリットに挟み込まないようご注意ください。

4 レバーを下に押しながら、ハードディスクからケーブルを取り外し、別売のカートリッジ付ハードディスク HD-HQFBS に交換します。

> ＜取り付ける場合＞
> ケーブルの抜けがないようしっかりと取り付けます。

5 取り外した逆の手順で元どおりに組み立てます。

取り付け時に注意すべきポイントがある場合は、各手順の中で＜取り付ける場合＞として説明してありますので、必ずご参照ください。

6 ケーブル類をすべて元の状態に接続し、TeraStation の電源を ON にします。

7 P41 の手順で TeraStation の設定画面を表示します。

8 トップ画面に表示されているエラー情報をクリックします。

9 以降は画面の指示にしたがってハードディスクの構成を復旧してください。

以上でハードディスクの交換は完了です。

液晶ディスプレイ表示一覧

TeraStation 本体前面には液晶が装備されています。表示内容は以下のとおりです。

通常表示

通常表示は、TeraStation 前面の液晶表示切替スイッチを押すことで、表示を切り替えることができます。また、設定画面 [表示パネル設定] で、表示項目を設定することもできます。

液晶表示例		内容
LINK SPEED	ＬＩＮＫ　ＳＰＥＥＤ 　Ｎｏ　ＬＩＮＫ	ネットワークに接続されていません。
	ＬＩＮＫ　ＳＰＥＥＤ １０Ｍｂｐｓ　ＨＡＬＦ	10Mbps 半二重接続されています。
	ＬＩＮＫ　ＳＰＥＥＤ １０Ｍｂｐｓ　ＦＵＬＬ	10Mbps 全二重接続されています。
	ＬＩＮＫ　ＳＰＥＥＤ １００ＭｂｐｓＨＡＬＦ	100Mbps 半二重接続されています。
	ＬＩＮＫ　ＳＰＥＥＤ １００ＭｂｐｓＦＵＬＬ	100Mbps 全二重接続されています。
	ＬＩＮＫ　ＳＰＥＥＤ １０００Ｍｂｐｓ	1000Mbps 全二重接続されています。
HOST 名・IP アドレス	ＴＳ-ＴＧＬ　ｘｘｘ １９２.１６８.１１.１５０	HOST 名と IP アドレスを表示します。IP アドレス末尾には、F(固定 IP アドレス) か、D(DHCP サーバ機能による自動取得 IP アドレス) が表示されます。
カレンダー時計	ＤＡＴＥ　　　　ＴＩＭＥ ２００５／１０／１０　２２：３０	TeraStation に設定されている日時を表示します。
オペレーション ,MODE	ＨＤ　１－２－３－４ 　ＲＡＩＤ５	ハードディスク 1 から 4 を使用して、RAID5 を構成しています。
	ＨＤ　１－２－３－４ 　ＳＰＡＮＮＩＮＧ	ハードディスク 1 から 4 を使用して、スパニングを構成しています。
	ＨＤ　１，２，３，４ 　ＳＩＮＧＬＥ	ハードディスク 1 から 4 を個々に使用しています。
	ＨＤ　１－２　：　ＲＡＩＤ１ 　３－４　：　ＲＡＩＤ１	ハードディスク 1,2 と 3,4 を使用して、RAID1 を構成しています。
	ＨＤ　１－２　：　ＲＡＩＤ１ 　３，４　：　ＳＩＮＧＬＥ	ハードディスク 1,2 で RAID1 を構成し、ハードディスク 3 と 4 を個々に使用しています。
	ＨＤ　１，２　：　ＳＩＮＧＬＥ 　３－４　：　ＲＡＩＤ１	ハードディスク 1 と 2 を個々に使用し、ハードディスク 3,4 で RAID1 を構成しています。
ディスク容量	ＨＤＤ　　　　^ ＵＳＥＤ　　1＿2■3█4█	TeraStation に内蔵されているハードディスク 1 から 4 の使用容量を棒グラフで表示します。DiskFull 状態のハードディスクには「^」が表示されます。

状態表示

設定を変更したときや、フォーマットしたときなど、現在の状態が液晶に表示れさます。

液晶表示例	内容
HDx Warning I11 Bad Sectors	x番のハードディスクの不良セクタが危険な範囲に達する可能性があります。x番のハードディスクを交換してください。
OperationModeI12 DEGRADE MODE	RAIDのデグレードモード動作中です。
RAID I13 ARRAYxFormatting	x番のRAIDアレイをフォーマット中です。
RAID I14 ARRAYx Checking	x番のRAIDアレイをチェック中です。
RAID I15 ARRAYx Scanning	x番のRAIDアレイのエラー状況を調査中です。 ※調査中は転送速度が低下します。
RAID I16 ARRAYx Creating	x番のRAIDアレイを作成中です。
RAID I17 ARRAYx Resycing	x番のRAIDアレイをリシンク中です。 ※リシンク中は転送速度が低下します。
RAID I18 ARRAYxRebuilding	x番のRAIDアレイを再構成中です。 ※再構成中は転送速度が低下します。
RAID I19 ARRAYx 0 Filling	x番のRAIDアレイに0を埋めて完全にデータを消去しています。
DISK I20 DISKx Formatting	x番のハードディスクをフォーマット中です。
DISK I21 DISKx Checking	x番のハードディスクをチェック中です。
DISK I22 DISKx 0 Filling	x番のハードディスクに0を埋めて完全にデータを消去しています。
SYSTEM I23 Initializing	システム初期化中です。
Network I24 Setting Config	IPアドレスの取得などネットワークを設定中です。
SYSTEM I25 F/WUPDATING	TeraStationのファームウェアをアップデート中です。 ※アップデート中は、電源をOFFにしないでください。
Web Setting I26 Initializing	Web設定初期化中です。
USB Diskx I27 Checking	x番のUSBハードディスクをチェック中です。
USB Diskx I28 Formatting	x番のUSBハードディスクをフォーマット中です。

エラー表示、警告表示

設定を変更したときや、フォーマットしたときなど、現在の状態が液晶に表示れさます。

液晶表示例	内容
SYSTEM Error E00 MPU No Responce	システムが応答してません。TeraStationの電源コードを抜いてからもう一度起動してください。それでもエラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。
DRAM LINES E01 DATA Failure	内部のICが一部正しく動作していません。弊社修理センターへ修理を依頼してください。
DRAM LINES E02 ADDRESS Failure	内部のICが一部正しく動作していません。弊社修理センターへ修理を依頼してください。
RTC Chip E03 No RTC Clock	内部のICが一部正しく動作していません。TeraStationの電源コードを抜いてからもう一度起動してください。再度エラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。
SYSTEM Error E04 Can't Load Krnl!	ファームウェアが破損しています。弊社修理センターへ修理を依頼してください。
WDT E05 SYSTEM Stopped	システムがハングアップしました。TeraStationの電源コードを抜いてからもう一度起動してください。それでもエラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。

次のページへ続く

HDx Error E16 HDx Not Found	x 番のハードディスクが見つかりません。x 番のハードディスクが接続されていない、または x 番のハードディスクが故障している可能性があります。ハードディスクの交換をしてください。
Chip Error E17 RTC Failure	基板が故障しています。TeraStation の電源コードを抜いてからもう一度起動してください。それでもエラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。
Chip Error E18 SATA1 Failure	基板が故障しています。TeraStation の電源コードを抜いてからもう一度起動してください。それでもエラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。
Chip Error E19 SATA2 Failure	基板が故障しています。TeraStation の電源コードを抜いてからもう一度起動してください。それでもエラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。
Chip Error E20 USB Failure	基板が故障しています。TeraStation の電源コードを抜いてからもう一度起動してください。それでもエラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。
Chip Error E21 Ethernet Failure	基板が故障しています。TeraStation の電源コードを抜いてからもう一度起動してください。それでもエラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。
UPS E10 Dependent Mode	停電により UPS のバッテリーで駆動している状態です。システムを安全にシャットダウンします。UPS に供給されている電源を確認して、問題がなければ TeraStation の電源を ON にしてください。
SYSTEM Error E11 Fan Failure	ファンの回転数に異常があります。ファンに異物や埃がないか確認してください。異物や埃があったときは､ピンセットやエアダスター等で除去してください。再度エラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。
SYSTEM Error E12 Cooling Failure	システムの温度上昇が、保障値を超えました。TeraStation の回りに物を置かないでください。または設置場所を涼しいところに移動させてください。
SYSTEM I10 TOO HOT !	システムの温度上昇が、保障値を超える可能性があります。TeraStation の回りに物を置かないでください。または設置場所を涼しいところに移動させてください。
RAID Error E13 ARRAYx Error	x 番の RAID アレイでエラーが発生しました。もう一度起動した場合は、RAID1、5 のときはデグレードモードとして動作します。再構築でエラードライブを再び使用できますが、エラードライブはすみやかに交換することをおすすめします。
RAID Arrayx E14 Can’t Mount	x 番の RAID アレイがマウントできませんでした。一度電源を OFF にした後、再び電源を ON にした後も同じエラーが表示されるときは、RAID の再構築を行ってください。それでもエラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。
HDx Error E15 Many Bad Sectors	x 番のハードディスクの不良セクタが危険な範囲に達しました。x 番のハードディスクを交換してください。
HDx Error E22 HD Can’t Mount	ハードディスクのマウントに失敗しました｡ハードディスクをフォーマットを行ってください。フォーマット後、再起動した後もエラーが出る場合には、ハードディスクを交換してください。それでもエラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。
HDx Error E23 HDx Is Faulty	エラーが発生し、x 番のハードディスクが RAID アレイから外されました。x 番のハードディスクを交換してください。
SATAx Error E24 COMM. Failure	x 番目のハードディスクとの通信に異常が発生しました。 TeraStation を一度再起動し、それでもエラーが表示されるときは、弊社修理センターへ修理を依頼してください。

困ったときは

メモ 最新の Q&A の情報は、弊社ホームページ (buffalo.jp) をご参照ください。

TeraStation を設定するためのパスワードを忘れた

TeraStation 背面の設定初期化スイッチを押すことで出荷時設定に戻すことができます。【P64】
出荷時設定に戻した後に再度パスワードの設定を行ってください。
※初期化スイッチを押すとパスワード以外の設定も初期化されます。
※P64 の画面で [初期化しない] を設定すると、パスワードが初期化できません (パスワードを忘れた場合、TeraStation の設定を変更できません)。パスワードは忘れないように書き留めておいてください。

Macintosh と Windows で共有したファイルやフォルダ名に文字化けが発生する

Macintosh と Windows で共有するときは、全角文字が正常に表示されないことがあります。【P5】

Macintosh でファイルが見えない (AppleTalk 接続時)

Macintosh では半角 32 文字以上の名前のファイルを見ることはできません。Windows と Macintosh でファイル共有するときは半角文字 32 文字以内にしてください。
またファイルの容量が 2GB 以上の場合も、Macintosh で見えないことがあります。

ファイルの操作 (コピー / 消去 / 移動) ができなくなった

ファイル名が非常に長いと OS によっては、ファイルの操作ができないことがあります。

共有フォルダやファイルに属性を設定できない

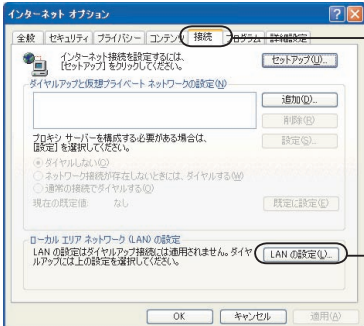
TeraStation に作成した共有フォルダやファイルに属性 (隠し / 読取専用) を設定することはできません。

作成した覚えのないファイルが生成されている

Macintosh からアクセスされた共有フォルダには情報ファイルが自動的に生成されることがあります。これらを Windows から削除した場合、Macintosh からアクセスできなくなることがありますのでご注意ください。

TeraStation が DHCP クライアントとして動作していない

TeraStation の電源スイッチを ON にしてから LAN ケーブルを接続すると固定 IP アドレス (出荷時 192.168.11.150) で TeraStation は動作します。
LAN ケーブルを接続してから TeraStation の電源スイッチを ON にしてください。

ブラウザで設定画面を表示できない、正常に表示されない

・LAN ケーブルが接続されていない
TeraStation の LAN ポートに LAN ケーブルを接続してください。

・TeraStation の電源が OFF になっている
TeraStation の電源ランプが点灯しているかご確認ください。点灯していないときは、電源ケーブルをコンセントに接続し、電源スイッチを押してください。

・パソコンがネットワークに接続されていない
設定を行うパソコンがネットワークに接続されているかご確認ください。TeraStation がネットワークに接続されていても、パソコンもネットワークに接続されていないと設定画面は表示されません。

・ネットワークアダプタが正常にインストールされていない
ネットワークアダプタのマニュアルを参照してドライバを再インストールしてください。

・「HDD エラー」と表示され、何も設定ができない
画面の指示に従って TeraStation を再起動してください。再起動しても同じ画面が表示されるときは、画面の指示に従ってハードディスク情報の再構成、またはフォーマットしてください。

・ブラウザの設定で、プロキシが有効に設定されている
ブラウザのヘルプを参照してプロキシを使用せずに直接接続するように設定を変更してください。

ここでは、Internet Explorer6 のプロキシを無効にする設定例を説明します。

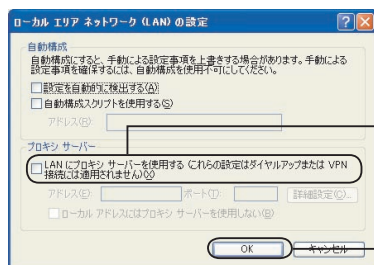
< Internet Explorer6 の例 >

1 Internet Explorer を起動します。

2 メニューから [ツール]-[インターネットオプション] を選択します。

3

次のページへ続く

4

① [プロキシ サーバー] のチェックボックスにチェックマークが無いことをご確認ください。チェックマークがあるときは、クリックしてチェックマークを消してください (※)。

② [OK] をクリックします。

以上でプロキシを無効にできました。

プロバイダの指示でプロキシを有効にしなければ、インターネットを閲覧できないときは、TeraStation の設定を完了した後に、プロキシを有効に戻してください。

※ [プロキシサーバー] のチェックマークを外したくないときは

1.[プロキシサーバー] 欄の [詳細] をクリックします。

2.[次で始まるアドレスにはプロキシを使わない] 欄に P41 手順 2 で確認できる TeraStation の IP アドレスを入力し、[OK] をクリックします。

Mac OS や Windows 98SE/98/95 から登録したユーザでアクセスできない

TeraStation に登録するユーザのユーザパスワードは、Windows 98SE/98/95 をお使いの方は半角英数 15 文字以上にしないでください。Mac OS をお使いの方は半角英数 9 文字以上にしないでください。TeraStation の共有フォルダにアクセスできなくなります。TeraStation のユーザ設定画面からパスワードを半角英数 14 文字以下 (Mac OS では半角英数 8 文字以下) に変更してください。

NAS Navigator などで TeraStation が認識できない

・付属ユーティリティのバージョンが古い
最新のユーティリティを弊社ホームページ (buffalo.jp) からダウンロードし、インストールしてください。バージョンが古いと最新の OS に対応していないことがあります。

・LAN ケーブルが接続されていない
TeraStation の LAN ポートに LAN ケーブルを接続してください。

・TeraStation の電源が OFF になっている
TeraStation の電源ランプが点灯しているかご確認ください。点灯していないときは、電源ケーブルをコンセントに接続し、電源スイッチを押してください。

・パソコンがネットワークに接続されていない
設定を行うパソコンがネットワークに接続されているかご確認ください。TeraStation がネットワークに接続されていても、パソコンもネットワークに接続されていないと設定画面を表示させることはできません。

・ネットワークアダプタが正常にインストールされていない
ネットワークアダプタのマニュアルを参照してドライバを再インストールしてください。

・TeraStation の IP アドレスと他のネットワーク機器の IP アドレスが競合している
お使いのネットワークに DHCP サーバが無い場合、TeraStation の IP アドレスは 192.168.11.150 に固定されます。この IP アドレスが他の機器で使用していると認識できません。

ここでは、パソコン本体の IP アドレスを確認する手順を説明します。同じ IP アドレスが使用されていたときは、別のパソコンから P31 を参照して TeraStation の IP アドレスを変更してください。

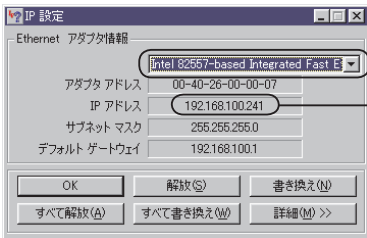
< Windows Vista/XP/2000/NT4.0 での IP アドレス確認手順例 >

1 以下のメニューをクリックして、コマンドプロンプトを起動します。

Windows Vista/XP/2000：
[スタート]-[(すべての) プログラム]-[アクセサリ]-[コマンドプロンプト] を選択します。
Windows NT4.0：
[スタート]-[プログラム]-[コマンドプロンプト] を選択します。

2 画面に「C:\>」と表示されます。

「IPCONFIG /ALL」と入力し、<ENTER> キーを押します。

次のページへ続く

3 「IP Address(IPv4 アドレス)」欄と「Subnet Mask(サブネットマスク)」に、IP アドレスとサブネットマスクが表示されます。

Ethernet adapter ローカルエリア接続	
IP address	:192.168.0.2 ―パソコンの IP アドレス
Subnet Mask	：255.255.255.0
Connection-specific DNS Suffix	：

< Windows Me/98SE/98/95 での IP アドレス確認手順例 >

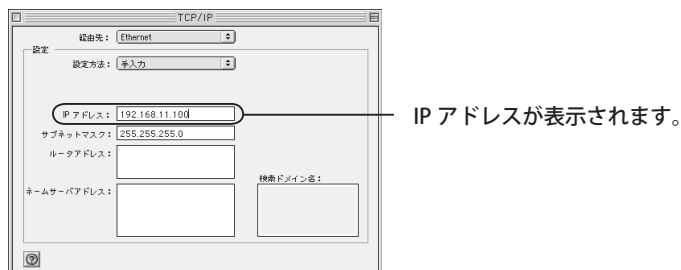
1 [スタート]-[ファイル名を指定して実行] を選択します。

2 「WINIPCFG」と入力し、[OK] をクリックします。

3

< Mac OS 8.6 ～ 9.2.2 での IP アドレス確認手順例 >

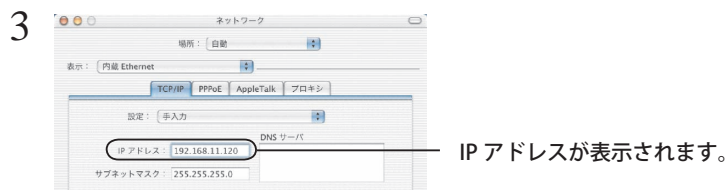
1 アップルメニューから [コントロールパネル]-[TCP/IP] をクリックします。

2

< Mac OS X 10.0.4 での IP アドレス確認手順例 >

1 [アップルメニュー]-[システム環境設定 ...] をクリックします。

2 [ネットワーク] アイコンをクリックします。

3

IP アドレスが表示されます。

< Mac OS X 10.3 ～ 10.4 での IP アドレス確認手順例 >

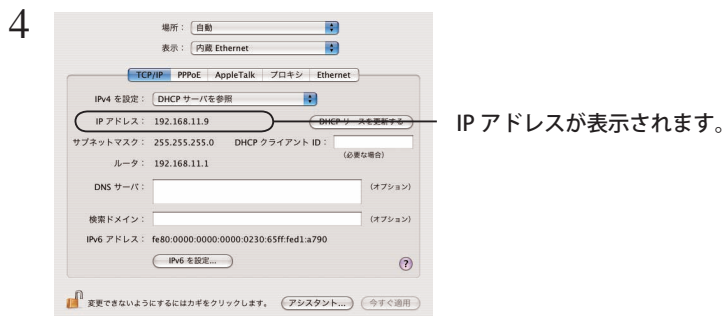
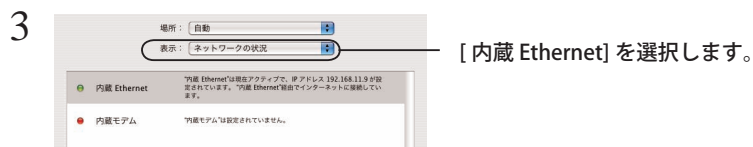
1 [アップルメニュー]-[システム環境設定 ...] をクリックします。

2 [ネットワーク] アイコンをクリックします。

3

[内蔵 Ethernet] を選択します。

4

IP アドレスが表示されます。

・Windows またはソフトのファイアウォール機能がはたらいている
ファイアウォールの機能が有効となっている場合、TeraStation が認識できないことがあります。この場合は、ファイアウォール機能を無効にするか、ファイアウォールを設定しているソフトをアンインストールしてください。設定に関する手順については、ソフトメーカーにお問い合わせください。

【Windows のファイアウォール機能の場合】
Windows によっては、ファイアウォールの設定によって付属のユーティリティが使用できないことがあります。ファイアウォール機能を無効にしてください。設定の変更手順は Windows によって異なります。詳しくは Windows のヘルプをご参照ください。

【トレンドマイクロ社ウィルスバスター 2006 がインストールされている場合】
以下の手順で「パーソナルファイアウォール機能」を無効にしてください。
本製品の使用が完了したら、再度「パーソナルファイアウォール」を有効にしてください。

1. 画面右下のタスクトレイ内に表示される「ウイルスバスター 2006 」アイコンを右クリックし、表示されるメニューから［メイン画面を起動］をクリックします。
2. メイン画面内の［不正侵入対策 / ネットワーク管理］をクリックし、カテゴリ画面から［パーソナルファイアウォール］をクリックします。
3. 「パーソナルファイアウォール」画面より［パーソナルファイアウォールを有効にする］のチェックボックスをクリックし、チェックの表示を消します。
4. ［適用］をクリックし、メイン画面を終了します。

以上で設定は完了です。

【 Norton Internet Security 2006 がインストールされている場合】
以下の手順で Norton Internet Security を無効にしてください。
本製品の使用が完了したら、再度「Norton Internet Security」を有効にしてください。
1. [画面右下のタスクトレイ内に表示される「Norton Internet Security 2006」アイコンを右クリックし、表示されるメニューから［Norton Internet Security を無効にする］をクリックします。
2. ファイアウォール機能をオフにする期間を選択し、［OK］をクリックします。

以上で設定は完了です。

TeraStation の共有フォルダにアクセスできない

・設定画面で共有フォルダのアクセス権を設定すると、許可したユーザからのみアクセスできるようになります。許可していないユーザをアクセスできるようにするには設定を変更してください。

・Windows のネットワークにログインしたユーザ名、パスワードが、TeraStation の共有フォルダに設定されているユーザ名、パスワードと同一のものでないと共有フォルダにアクセスすることはできません。

・Windows Me/98SE/98/95 をお使いの場合、ログオンするネットワークの設定がファミリーログオンになっていると共有フォルダにアクセスできません。そのようなときは次の手順でログオンするネットワークを設定してください。

1 [ネットワークコンピュータ] アイコンを右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] をクリックします。

2 [優先的にログオンするネットワーク (Windows 95 では「優先的にログオンする」)] から「Microsoft ネットワーククライアント」を選択し、[OK] をクリックします。

※選択肢に「Microsoft ネットワーククライアント」が無い場合は、[追加] ー [クライアント] ー [Microsoft ネットワーククライアント] ー [OK] をクリックしてください。Windows の CD-ROM が要求されるメッセージが表示されたら画面の指示に従って CD-ROM ドライブに CD を挿入してください。

以上でログオンするネットワークの設定は完了です。

・Windows Vista/XP/2000/NT4.0 をお使いの場合、ユーザ名とパスワードの入力を求める画面が表示されますが、入力しても共有フォルダにはアクセスできません。必ず、TeraStation の共有フォルダに設定されているユーザ名、パスワードで Windows にログインしてください。

ここでは、ネットワークログイン名とパスワードの作成の手順を説明します。

< Windows Vista でのユーザ名とパスワード作成手順例 >

1 [スタート]-[コントロールパネル] を選択します。

2 [ユーザーアカウントの追加または削除](または [ユーザーアカウント]-[別のアカウントの管理]) をクリックします。

※「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されることがあります。このようなときは、[続行] をクリックしてください。

3 [新しいアカウントの作成] をクリックします。

次のページへ続く

4 [新しいアカウント名] に、TeraStation の共有フォルダに設定したユーザ名と同じユーザ名を入力しします。

5 [管理者] を選択し、[アカウントの作成] をクリックします。

6 「変更するアカウントを選択してください」から、新しく作成したアカウントをクリックします。

7 [パスワードの作成] をクリックします。

8 [新しいパスワード] に、TeraStation の共有フォルダに設定したパスワードと同じパスワードを入力し、[パスワードを作成] をクリックします。

< Windows XP でのユーザ名とパスワード作成手順例 >

1 [スタート]-[コントロールパネル] を選択します。

2 [ユーザーアカウント] アイコンをダブルクリックします。

3 [新しいアカウントを作成する] をクリックします。

4 [新しいアカウントの名前の入力]に、TeraStationの共有フォルダに設定したユーザ名と同じユーザ名を入力し、[次へ] をクリックします。

5 [コンピュータの管理者] を選択し、[アカウントの作成] をクリックします。

6 「変更するアカウントを選びます」から、新しく作成したアカウントをクリックします。

7 [パスワードを作成する] をクリックします。

8 [新しいパスワードの入力] に、TeraStation の共有フォルダに設定したパスワードと同じパスワードを入力し、[パスワードを作成] をクリックします。

< Windows 2000 でのユーザ名とパスワード作成手順例 >

1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル] を選択します。

2 [ユーザーとパスワード] アイコンをダブルクリックします。

3 [追加] をクリックします。

4 [ユーザー名] に、TeraStation の共有フォルダに設定したユーザ名と同じユーザ名を入力し、[次へ] をクリックします。

5 [パスワード] に TeraStation の共有フォルダに設定したパスワードと同じパスワードを入力し、[次へ] をクリックします。

6 [標準ユーザー] を選択し、[完了] をクリックします。

< Windows Me/98SE/98/95 でのユーザ名とパスワード設定 >

Windows 起動時の [ネットワークとパスワードの入力] 画面で、TeraStation の共有フォルダに設定したユーザ名とパスワードを入力してください。

< Windows NT4.0 でのユーザ名とパスワード設定 >

Windows NT4.0 のユーザ登録を済ませている場合は、そのユーザ名とパスワードを TeraStation に設定してください。
ユーザー登録をまだしていない方は TeraStation の共有フォルダに設定したユーザ名とパスワードを登録してください ([スタート]-[プログラム]-[管理ツール]-[(ドメイン) ユーザマネージャ])

< Mac OS 8.6 ～ 9.2.2 でのユーザ名とパスワード設定 >

アップルメニューから [セレクタ]-[Apple Share]-[TeraStation の名称] を選択し、[接続] をクリックすると、登録利用者の名前とパスワードを入力する画面が表示されます。
TeraStation の共有フォルダに設定したユーザ名とパスワードを入力してください。

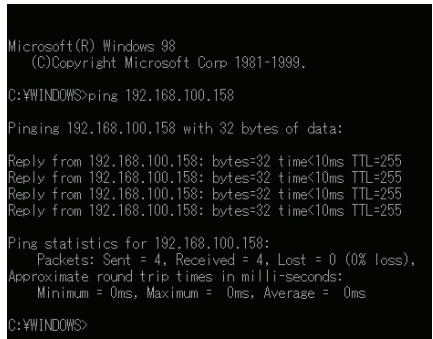
< Mac OS X でのユーザ名とパスワード設定 >

[移動]-[サーバへ接続 ...] で TeraStation の IP アドレスを設定後、[接続] をクリックすると、登録ユーザの名前とパスワードを入力する画面が表示されます。
TeraStation の共有フォルダに設定したユーザ名とパスワードを入力してください。

NAS Navigator で確認できても TeraStation が認識できない

TeraStation に割り当てられた IP アドレスによっては、NAS Navigator で TeraStation を確認できても使用できないことがあります。そのようなときは次の手順を行ってください。

1 **コマンドプロンプトの画面を表示させます。表示のさせ方は Windows によって異なります。**

Windows Vista/XP/2000：
　[スタート] ─ [(すべての) プログラム] ─ [アクセサリ] ─ [MS-DOS プロンプト]
Windows Me：
　[スタート] ─ [プログラム] ─ [アクセサリ] ─ [MS-DOS プロンプト]
Windows 98/95:
　[スタート] ─ [プログラム] ─ [MS-DOS プロンプト]
Windows NT4.0：
　[スタート] ─ [プログラム] ─ [コマンドプロンプト]

2 **コマンドプロンプトの画面 (C:\WINDOWS> など) が表示されたら、「ping 192.168.11.150」を入力して、<Enter> キーを押します。**

※下線部は TeraStation の IP アドレスです。環境によって入力する値は異なります。P41 の手順 2 でメモをした IP アドレスを入力してください。

```
Microsoft(R) Windows 98
   (C)Copyright Microsoft Corp 1981-1999.

C:¥WINDOWS>ping 192.168.100.158

Pinging 192.168.100.158 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.100.158: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.100.158: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.100.158: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.100.158: bytes=32 time<10ms TTL=255

Ping statistics for 192.168.100.158:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
Approximate round trip times in milli-seconds:
    Minimum = 0ms, Maximum =  0ms, Average =  0ms

C:¥WINDOWS>
```

3 **正常に接続されているときは、「Reply from 192.168.11.150: byte=32 time=1ms TTL=255」等表示されます。**

「Reply from ～」と表示されないときは、P31 の手順で TeraStation の IP アドレスを変更してください。

コマンドプロンプトの画面を終了するときは、「exit」と入力して <Enter> キーを押します。

共有フォルダのデータを削除しても容量が変わらない

TeraStation の共有フォルダにゴミ箱機能が有効に設定されていると、削除したデータは共有フォルダの [trashbox] フォルダに移動されます。【P45】

共有フォルダのゴミ箱のデータを消去したい

ゴミ箱 [trashbox] フォルダのデータを選択し、<Delete> キーを押すと消去されます。

Microsoft ネットワークドメインに新たに登録したユーザ名で TeraStation にアクセスできない

Microsoft ネットワークドメインに新たに登録したユーザ名で TeraStation にアクセスするには、TeraStation の設定を再度行う必要があります。
P60 に記載の TeraStation の設定画面で、[ドメイン名]/[ドメインコントローラ名] を入力し、[設定] をクリックしてください。

TeraStation をドメインでネットワークに参加させることができない (Windows Server 2003)

TeraStation は SMB パケットのデジタル署名に対応しておりません。ドメインコントローラーの Guest アカウントが無効の場合、TeraStation をドメインに参加させることができません。ドメインに参加させるには次の方法があります。

・ドメインコントローラーの Guest アカウントを有効にする
・ドメインコントローラーのレジストリの記述「\HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\ Services\lanmanserver\parameters」の「requiresecuritysignature」値を 0 に変更する

TeraStation の名称を変更したらドメインでネットワークに参加できなくなった

TeraStation の名称を変更するとドメインでネットワークに参加できなくなります。変更したときは、再度次の手順でドメインを再設定してください。

1 変更した名称と同じコンピュータアカウントをドメインコントローラに登録します。
2 TeraStation の設定画面 (P60) でネットワーク参加方法 (ドメイン)、ドメイン名、ドメインコントローラー名を再度設定します。

「ドメインコントローラによるアクセス認証は現在無効です」と表示される

TeraStation とドメインコントローラ間でドメインに関する通信が正しく行えていません。次の手順でドメインを再設定してください。

1 TeraStation の名称と同じコンピュータアカウントをドメインコントローラから削除します。
2 TeraStation の名称と同じコンピュータアカウントをドメインコントローラに再登録します。
3 TeraStation の設定画面 (P58) でネットワーク参加方法 (ドメイン)、ドメイン名、ドメインコントローラ名を再度設定します。

FTP フォルダにアップロードしたデータが壊れている

・お使いのパソコンによっては、FTP クライアントソフトウェアの通信設定で、[バイナリーモード] にしておかないと、アップロードしたデータから改行コードが削除されることがあります。
・お使いの OS によっては日本語のファイル名が正常に表示されないことがあります。

NTP 機能が使用できない

ネットワークが外部に接続されていない可能性があります。外部の NTP サーバにアクセスできる環境が必要です。また、Proxy サーバ経由で外部にアクセスするようなネットワーク環境では、外部の NTP サーバにアクセスできないため NTP 機能を使用することはできません。

Mac OS から TeraStation に突然アクセスできなくなった (Windows からはアクセス可能)

Mac OS から接続中に、停電など正常な手段で接続が解除できなかった場合、Mac OS が作成するデータベース等が破損し、接続できなくなることがあります。
このようなときは P47 の設定画面で [Mac OS の固有情報を削除] を選択し、ディスクチェックを実行してください。下記のファイルが全て (サブディレクトリ含む) を削除され、接続できるようになることがあります。
・.AppleDB
・.AppleDesktop
・.AppleDouble
・TheVolumeSettingsFolder
・Network Trash Folder

用語集

AFP(Apple Filing Protocol)

AppleTalk によるネットワークで、ファイル共有を実現する AppleShare で利用されるプロトコルの名称。

AppleShare

Apple 社純正のファイルサーバ機能や、ファイルおよびアプリケーションの共有機能を提供するネットワーク用ソフトウェア。

AppleTalk

Mac OS に標準搭載のネットワーク機能。ファイル共有やプリンタ共有などのサービスを提供する。

DHCP サーバ

DHCP サーバはネットワークに関連した情報（IP アドレス、デフォルト・ルータの IP アドレス、ドメイン名など）を管理する。DHCP クライアントが起動すると、自動的に IP アドレスなどの情報を割り振る。DHCP サーバがネットワーク上に存在すると、ネットワーク上のパソコンや AirStation に、IP アドレスなどを手動で設定する必要がなくなる。

DNS

コンピュータ名やドメイン名 を、それぞれに対応した IP アドレスに変換するシステム。

FTP(File Transfer Protocol)

TCP/IP で構成されたネットワークでファイルを転送するために使われるプロトコル。FTP クライアントソフトウェアを使用して転送を行う。OS の種類に関係なく転送ができます。

IP アドレス

TCP/IP プロトコルによるネットワークで使用されるアドレス。各コンピュータの住所を示す整理番号のようなもの。ネットワーク機器の IP アドレスが重複していると正常に認識されない。

Jumbo Frame

一回で転送できる LAN 上のデータサイズを従来の 1518bytes から Jumbo Frame(4100bytes/7418bytes) に拡張して転送速度を向上させることができます。

MAC アドレス

ネットワークカードごとの固有の物理アドレス。先頭からの 3bytes のベンダコード（メーカーの ID）と、残り 3bytes のユーザコードの 6bytes で構成される。Ethernet ではこのアドレスを元にフレームの送受信を行う。

NTP(Network Time Protcol)

ネットワークを通じて時刻修正を行うプロトコル。定期的に NTP サーバの時刻と同期させて修正を行います。

次のページへ続く

PDC(Primary Domain Controller)

ログオンの認証および Microsoft ネットワークドメインのユーザやセキュリティを管理するサーバ。

RAID(Redundant Arrays of Inexpensive Disks)

複数のハードディスクを用いてアクセスを分散させることにより、大容量で信頼性の高い記憶装置を実現するための技術。RAID はその機能によって、いくつかのレベルに分けることができる。代表的なレベルとして RAID-1 や RAID-5 などがある。

RAID1

2 台のディスクにまったく同じデータを同時に書きこむ方式 (ミラーリング)。片方が破損しても、もう一方からデータを読み出せるのでシステムは問題無く稼動しつづけることができる。

RAID5

複数のハードディスクにデータを分散して書き込むことで速度性能を向上させ、同時にデータの信頼性を確保するためにパリティ情報を全てのドライブに分散して埋め込まれている。もし、どれか 1 台のハードディスクが破損しても、残りのハードディスクにある情報を基にして修復ができる。

UPS(Uninterruptible Power Supply)

無停電電源装置。バックアップ用の電池を内部に持ち、停電時でもシステムを数分間稼働させてシステムを安全にシャットダウンできるようにする装置。UPS によっては内部に発電機を持ち、システムを数日にわたって稼働できるものもある。

SMB(Server Message Block)

ファイル共有やプリンタ共有のサービスを提供するプロトコル。

TCP/IP

ネットワークを構築する際のプロトコル (通信規約) の一つ。TCP プロトコル (データ分割および誤り検出) と IP プロトコル (宛先や発信元 IP アドレスの付与) を組み合わせたもの。

WINS

WindowsNT ネームサーバ機能。Windows ネットワーク環境でホスト名やドメイン名を IP アドレスに自動的に割り当てる。

次のページへ続く

ゲートウェイ
ネットワークとネットワークを結ぶ機器・パソコン・ソフトウェア。パケットが LAN の外に出て行くときに通過する。

サブネットマスク
IP アドレスを、ネットワークアドレス番号とホストアドレス番号に分けるための値。ルータがパケットを送受信するために用いる。

スパニング (JBOD/Just Bunch Of Disks)
複数のハードディスクを 1 つの大容量ディスクとして扱う技術。

ジャーナリングファイルシステム
ディスクに障害が発生した場合にすぐ復旧できるよう、ファイル更新履歴のバックアップをとっておく機能を持ったファイルシステム。

デグレード
RAID1、5 を構成しているドライブが、障害や欠落している状態です。データの完全性は保たれていますが、以後に発生したエラーを修復することができず、全データの消失にもつながります。非常に危険な状態ですので、すみやかにエラーのあるハードディスクを交換することをおすすめします。

ドメイン
Windows Vista/XP/2000/NT を基盤としたネットワークにおいて、複数のコンピュータを論理的に 1 つにまとめたグループ。

ネイティブモード
Windows 2000Server/2003Server での ActiveDirectry の操作モードの一つ。
TeraStation や Windows 2000 以前のパソコンはネイティブモードに対応しておりません。
混在モードでご使用ください。

ファイアウォール
ネットワークへ外部から侵入されるのを防ぐ機能。Windows XP や一部のウィルス対策ソフト (トレンドマイクロ社ウィルスバスターなど) に付属している。

ワークグループ
小規模な Windows ネットワークに存在するグループ。大規模な運用には向かない。ワークグループ内でファイルやプリンタの共有を行なうことができる。Microsoft は、Windows にこのワークグループネットワーク機能を標準で搭載している。